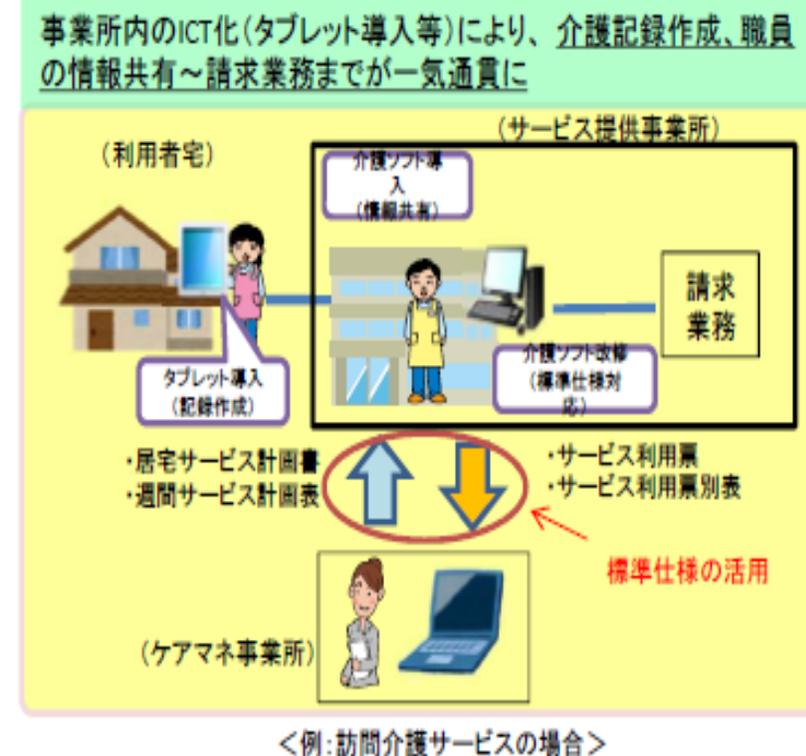


令和2年度
山梨県ICT導入支援事業費補助金
導入効果報告書取りまとめ

山梨県 I C T 導入支援事業費補助金について

- 山梨県では、令和元年度から I C T 導入支援事業費補助金を実施しています。
- 令和 2 年度は 2 1 事業所に対して I C T の導入を支援しました。

山梨県介護事業所 I C T 導入支援事業費補助金の概要									
事業の目的	介護事業所の I C T 導入を支援することで、介護業務の事務効率化による職場環境の向上を推進する。								
補助対象機器 及び 補助上限額	<ul style="list-style-type: none"> 介護記録から請求業務までが一気通貫となる介護ソフトの導入費用 タブレット端末等のハードウェアや通信環境整備に要する費用等 <p>1 介護事業所あたり</p> <table border="0"> <tr> <td>・職員 1 ～ 1 0 人</td> <td>2, 0 0 0 千円</td> </tr> <tr> <td>・職員 1 1 ～ 2 0 人</td> <td>3, 2 0 0 千円</td> </tr> <tr> <td>・職員 2 1 ～ 3 0 人</td> <td>4, 0 0 0 千円</td> </tr> <tr> <td>・職員 3 1 人～</td> <td>5, 2 0 0 千円</td> </tr> </table>	・職員 1 ～ 1 0 人	2, 0 0 0 千円	・職員 1 1 ～ 2 0 人	3, 2 0 0 千円	・職員 2 1 ～ 3 0 人	4, 0 0 0 千円	・職員 3 1 人～	5, 2 0 0 千円
・職員 1 ～ 1 0 人	2, 0 0 0 千円								
・職員 1 1 ～ 2 0 人	3, 2 0 0 千円								
・職員 2 1 ～ 3 0 人	4, 0 0 0 千円								
・職員 3 1 人～	5, 2 0 0 千円								
補助率	1 / 2								



山梨県 I C T 導入支援事業費補助金について（導入効果報告書）

- I C T 導入支援事業費補助金により I C T を導入した事業所は、導入年度の翌年度の 5 月までに、I C T 導入効果報告書を厚生労働省に報告する必要があります。

【報告の方法と内容】

毎年厚生労働省が通知する方法により報告します。

※令和 2 年度は、主に下記の項目を報告しています。

- （1） I C T を導入したことにより改善したと思うこと
- （2） ICT を導入するにあたり、うまくいかなかったこと、今後改善が必要なこと
- （3） 導入した機器等

導入効果報告書を踏まえた I C T 導入のポイント

- 介護ソフトの導入により、記録等の間接業務の時間を削減し、直接介護等の業務に充てる時間を確保する効果が見られました。
- ただし、運用の段階で、従来の記録・報告の方法に戻したいというご家族等からの要望や、職場内の意見が出てくるのが想定されます。その都度、運用の見直しを行い、その結果を職場内で共有してください。
- また、職員の PC スキルの差が、介護ソフトの活用の差につながる状況も見られますので、介護ソフト導入に際しては、職員の PC スキルの把握や、介護ソフト導入に対しての意見交換、職場研修の実施、マニュアルの共有等、誰もが介護ソフトを活用できる環境を整えるよう計画してください。

次のページから、令和 2 年度に I C T を導入し、活用している事業者の皆さんの導入効果報告書の結果を掲載しています。
（主な項目を抜粋。） I C T を導入する際の検討材料としてご活用ください。

(1) ICTを導入したことにより改善したこと

○ ICT導入効果報告書の設問：本事業による補助でICTを導入したことにより改善したと思うことをお聞かせください。

※回答は、1：そう思わない ～ 6：そう思う を選択。

※回答数：20事業所（R3.6時点）

- | | |
|----------------------|---|
| ①事業所運営・業務について | <ul style="list-style-type: none">事業所分析が充実した（実地指導用資料作成、各種統計資料作成等）業務管理が効率化された（予定管理の効率化 等）間接業務の時間が削減された間接業務の時間が削減された 等 |
| ② 増加した直接業務時間 | 職員 1 人あたりの1ヶ月平均 |
| ③ 記録について | <ul style="list-style-type: none">記録に要する時間が削減された記録が充実した（読みやすさ、誤字脱字の減少、内容の充実）ケアプランが充実した（計画・報告作成時間の短縮、内容の充実等）文書量が削減された 等 |
| ④ 削減した文書量 | 1事業所あたりの1ヶ月平均 |
| ⑤ 情報連携・共有について | <ul style="list-style-type: none">事業所内の情報共有が円滑になった。（話し合い時間の増等含む）事業所外との情報共有が円滑になった（家族や他事業所との連絡 等） |
| ⑥ その他、ICT導入により改善したこと | 自由記述 |

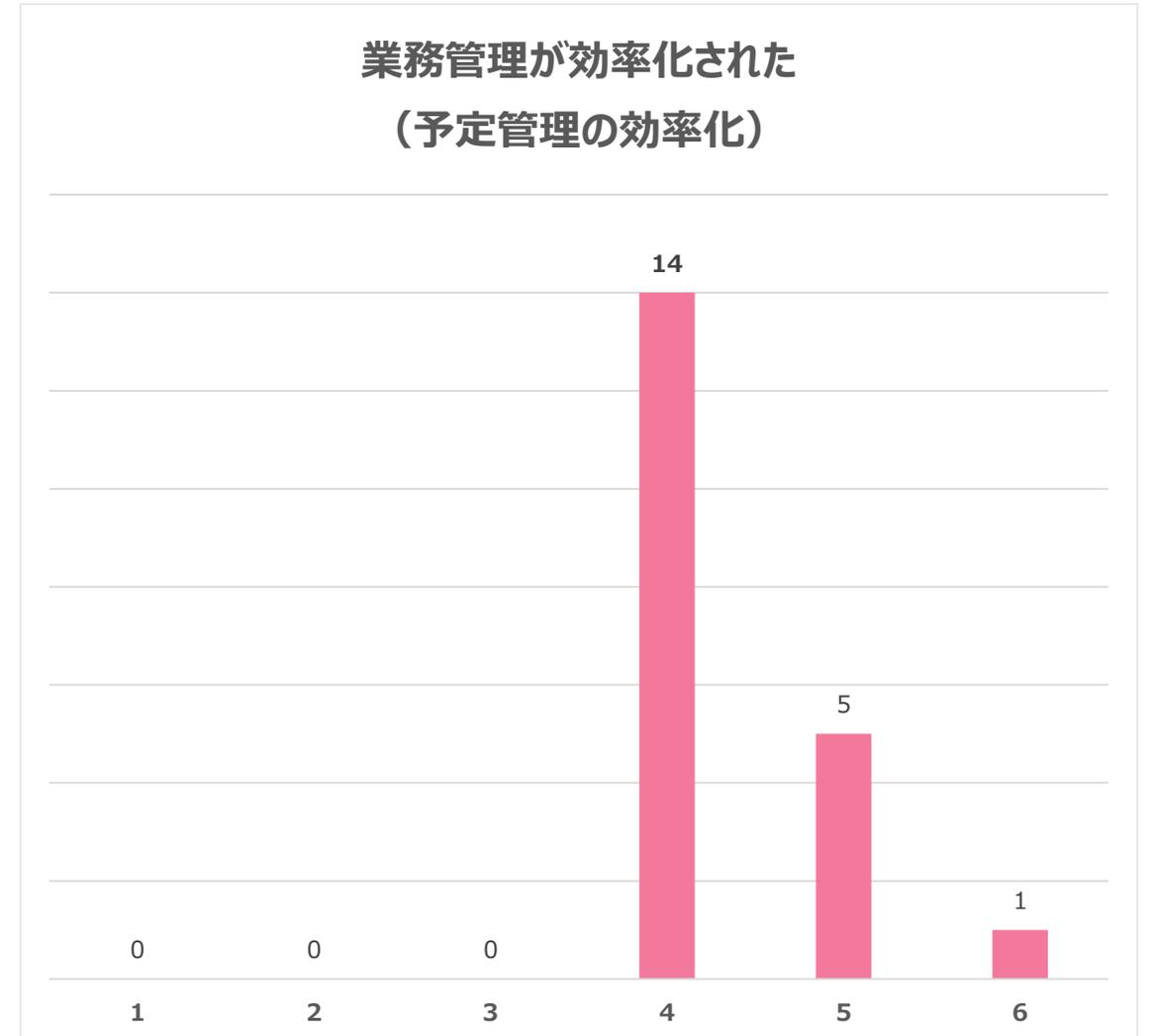
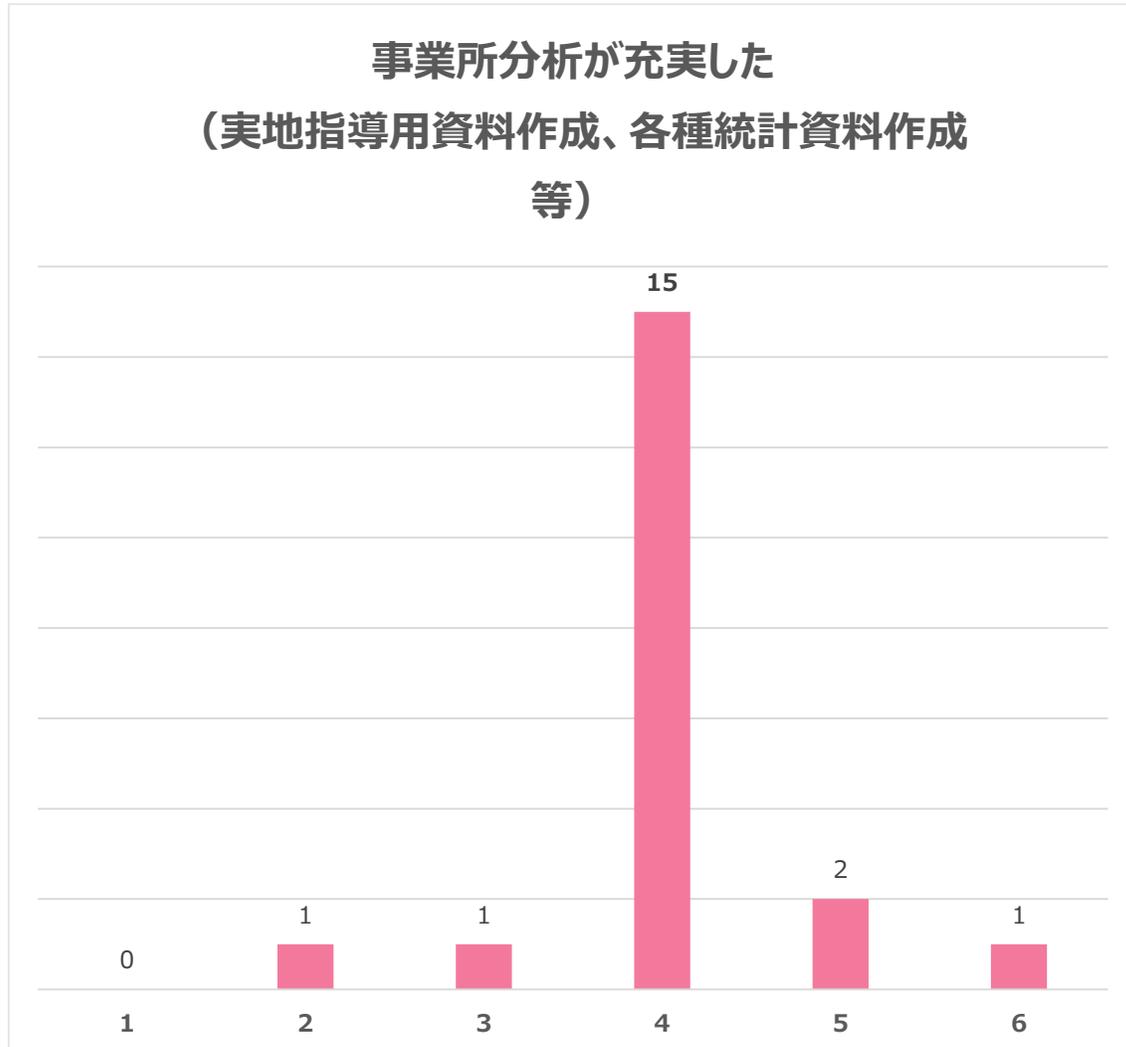
(1) ICTを導入したことにより改善したこと

※導入効果報告書における回答の集計結果

○設問：本事業による補助でICTを導入したことにより改善したと思うことをお聞かせください。

① 事業所運営・業務について

1：そう思わない ～ 6：そう思う の選択式



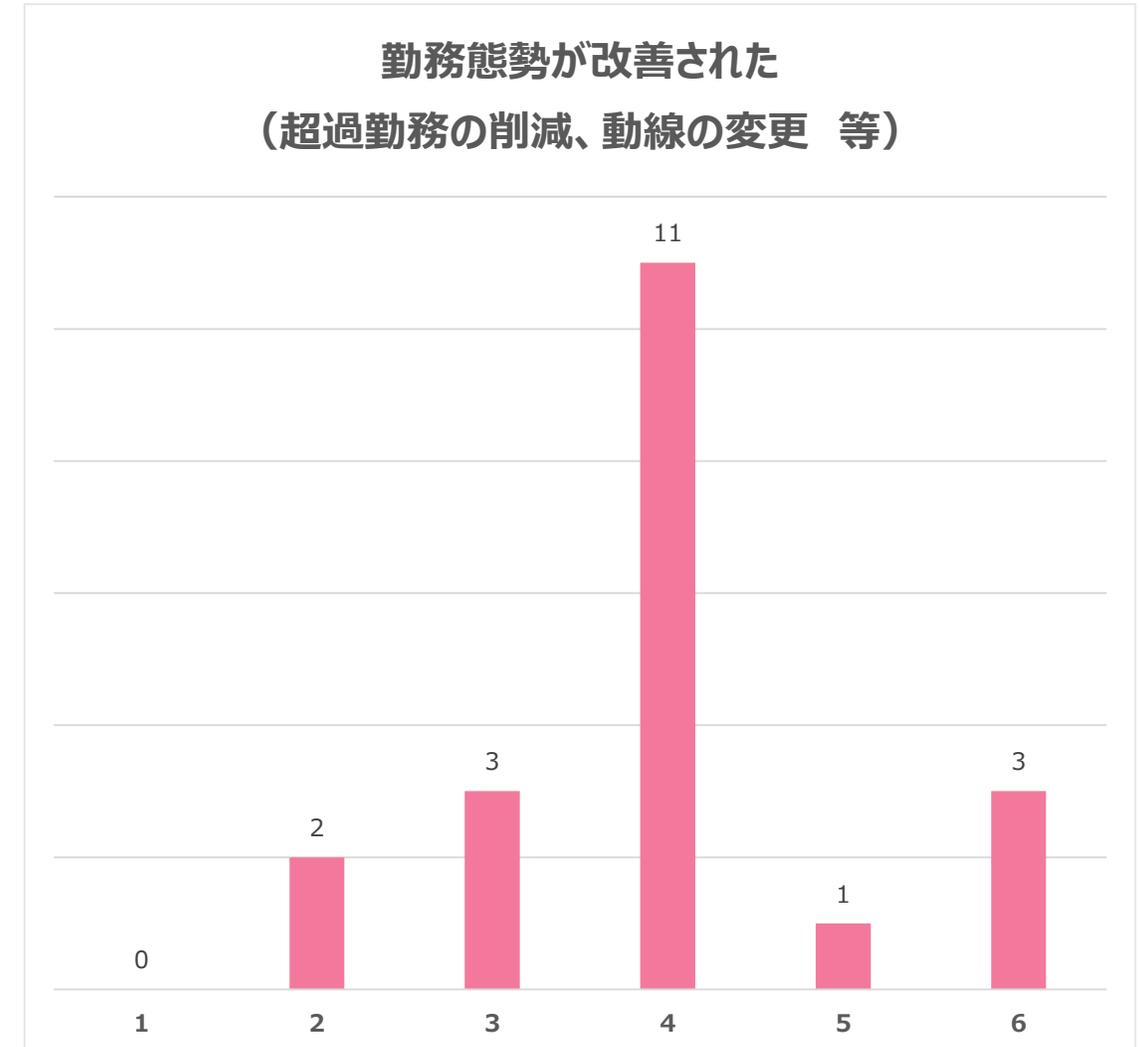
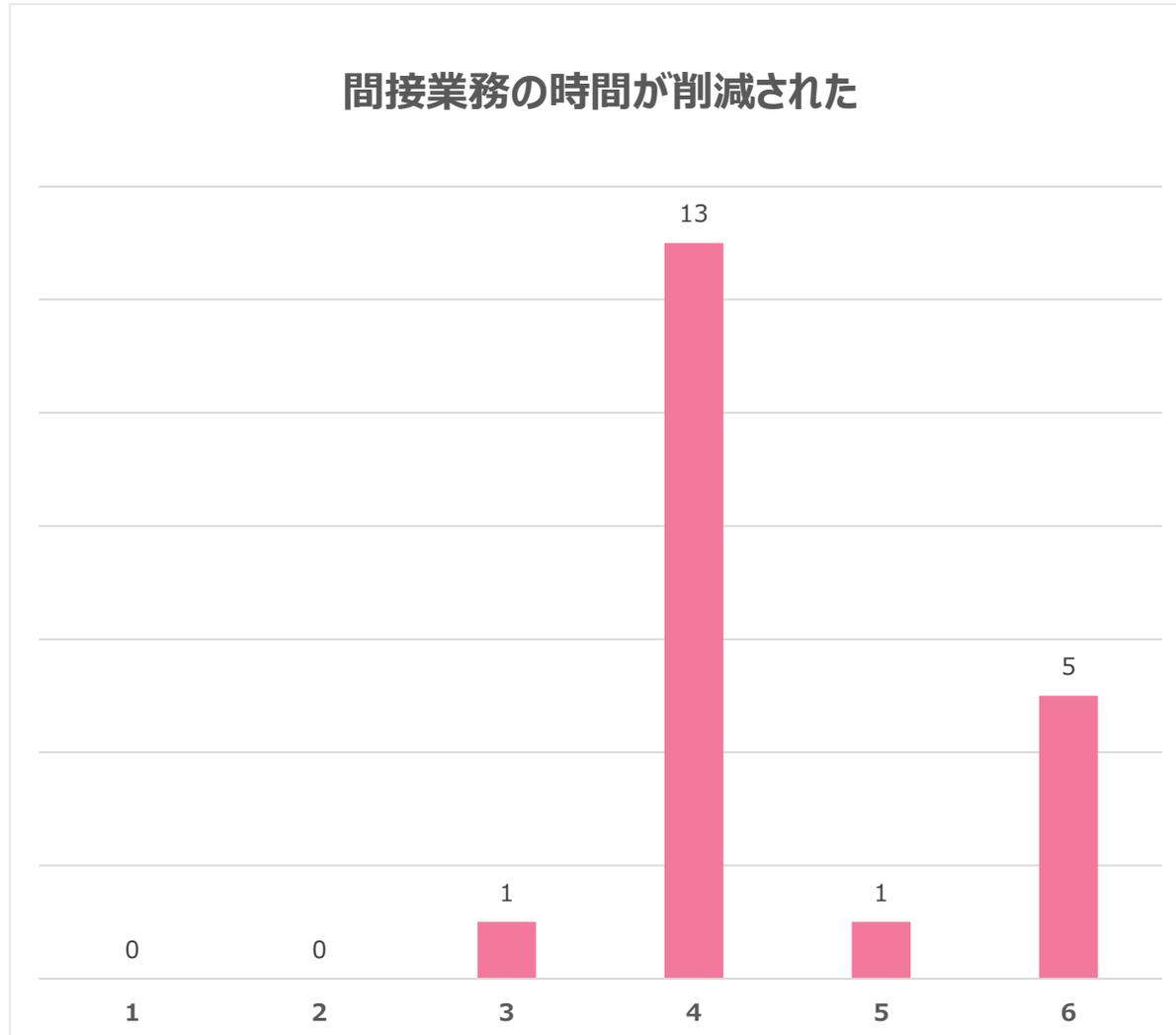
(1) ICTを導入したことにより改善したこと

※導入効果報告書における回答の集計結果

○設問：本事業による補助でICTを導入したことにより改善したと思うことをお聞かせください。

① 事業所運営・業務について

1：そう思わない ～ 6：そう思う の選択式



(1) ICTを導入したことにより改善したこと

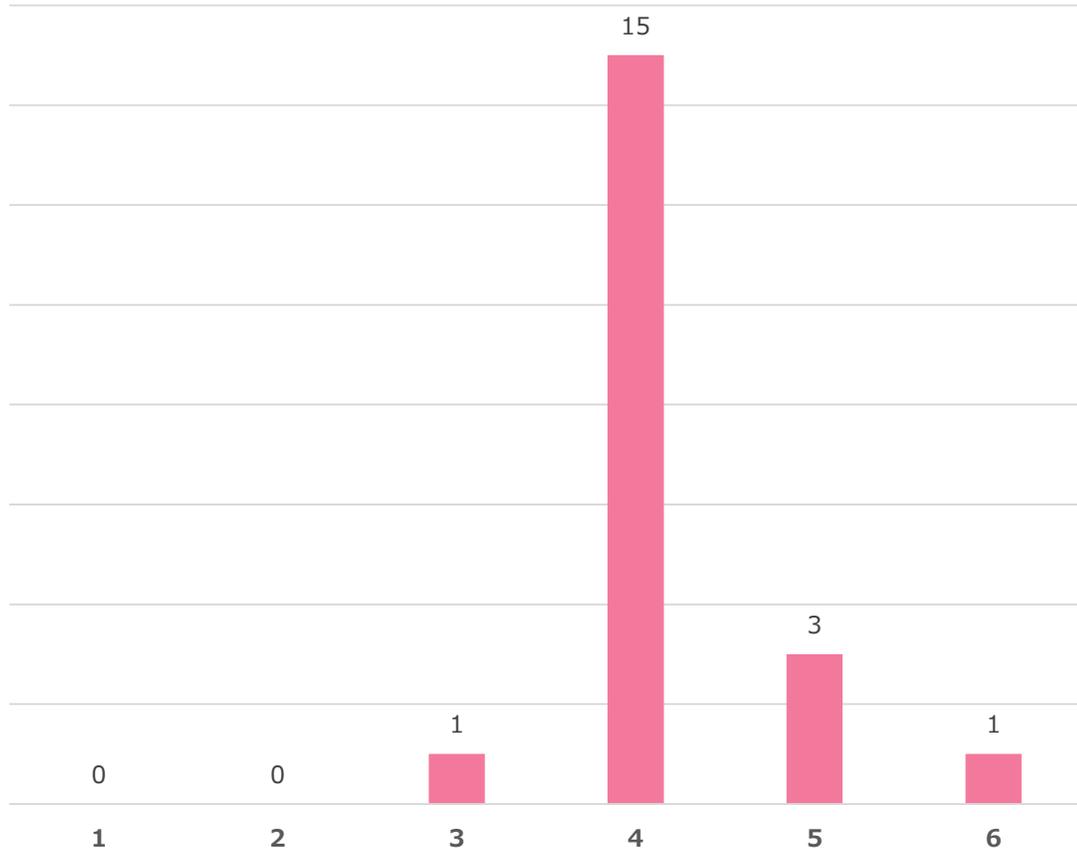
※導入効果報告書における回答の集計結果

○設問：本事業による補助でICTを導入したことにより改善したと思うことをお聞かせください。

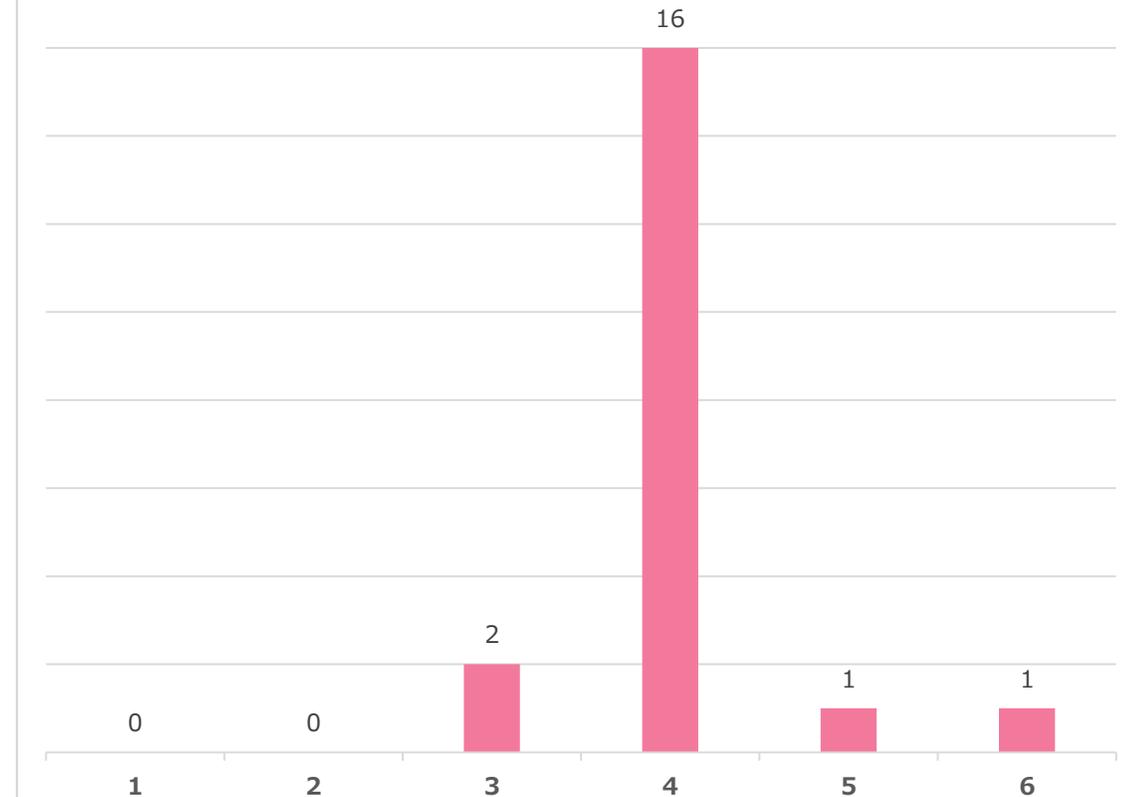
① 事業所運営・業務について

1：そう思わない ～ 6：そう思う の選択式

業務上の単純ミスが減った



支援の質が上がった (家族への情報提供・支援に充てる時間の増加)



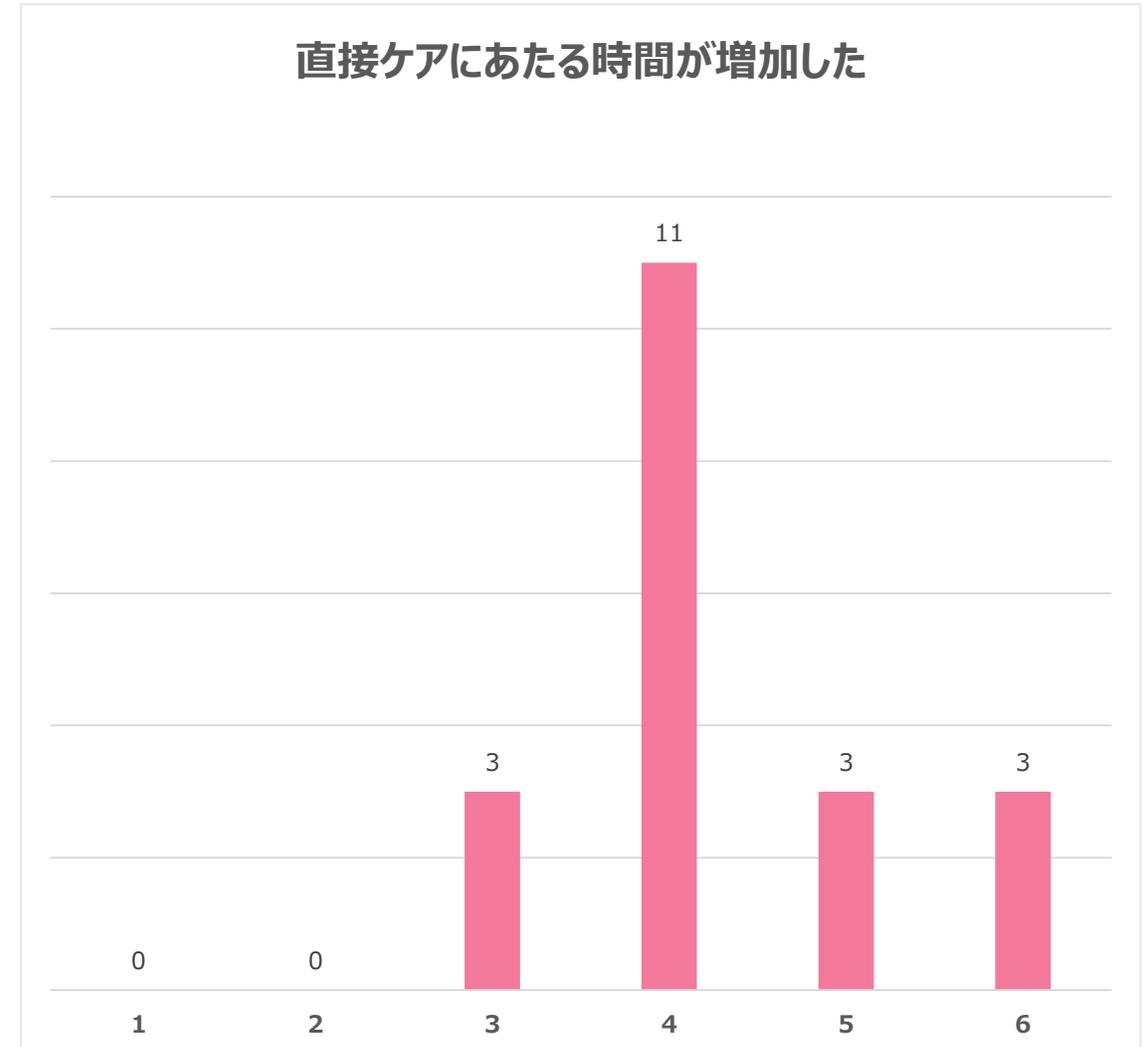
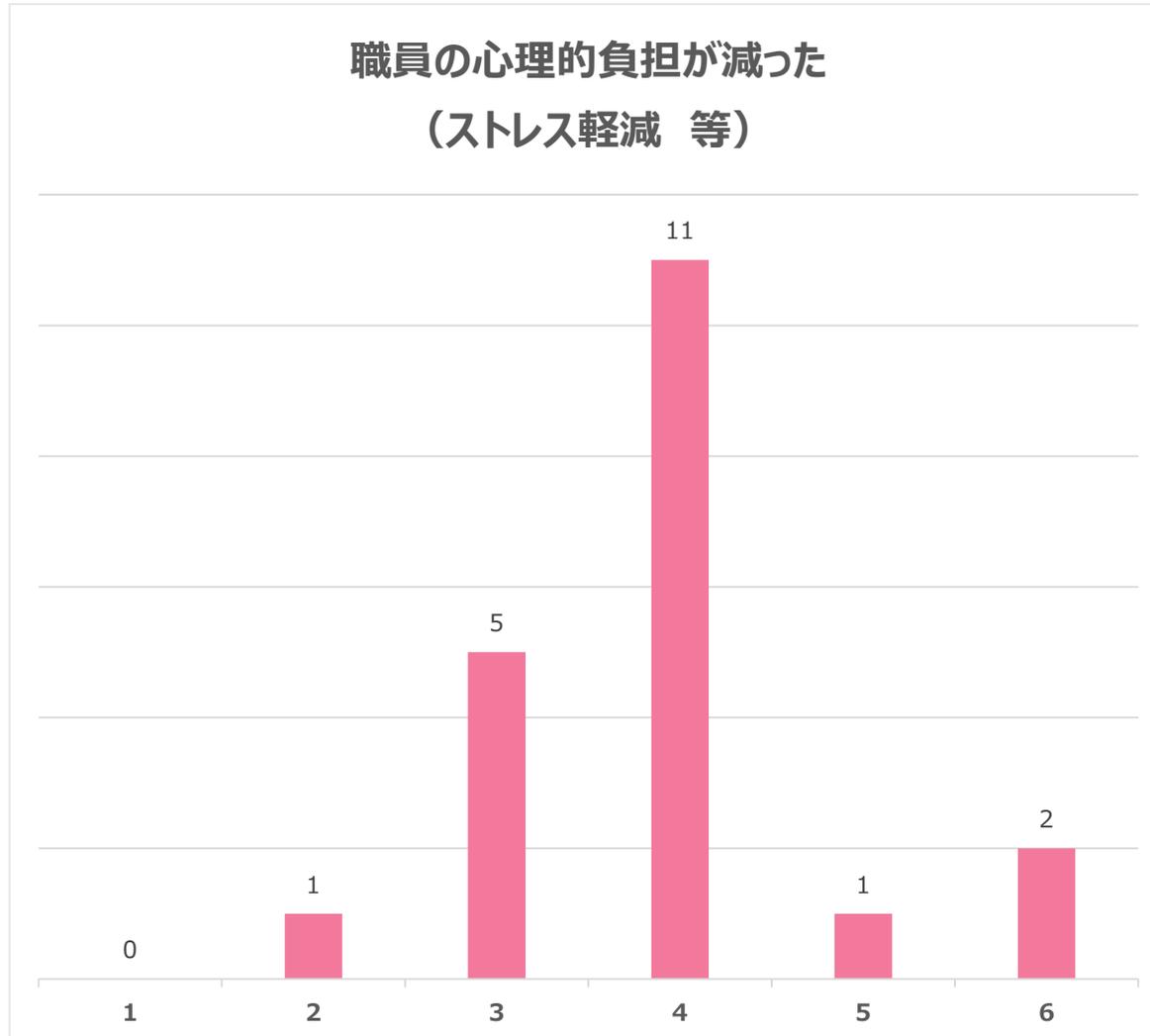
(1) ICTを導入したことにより改善したこと

※導入効果報告書における回答の集計結果

○設問：本事業による補助でICTを導入したことにより改善したと思うことをお聞かせください。

① 事業所運営・業務について

1：そう思わない ～ 6：そう思う の選択式



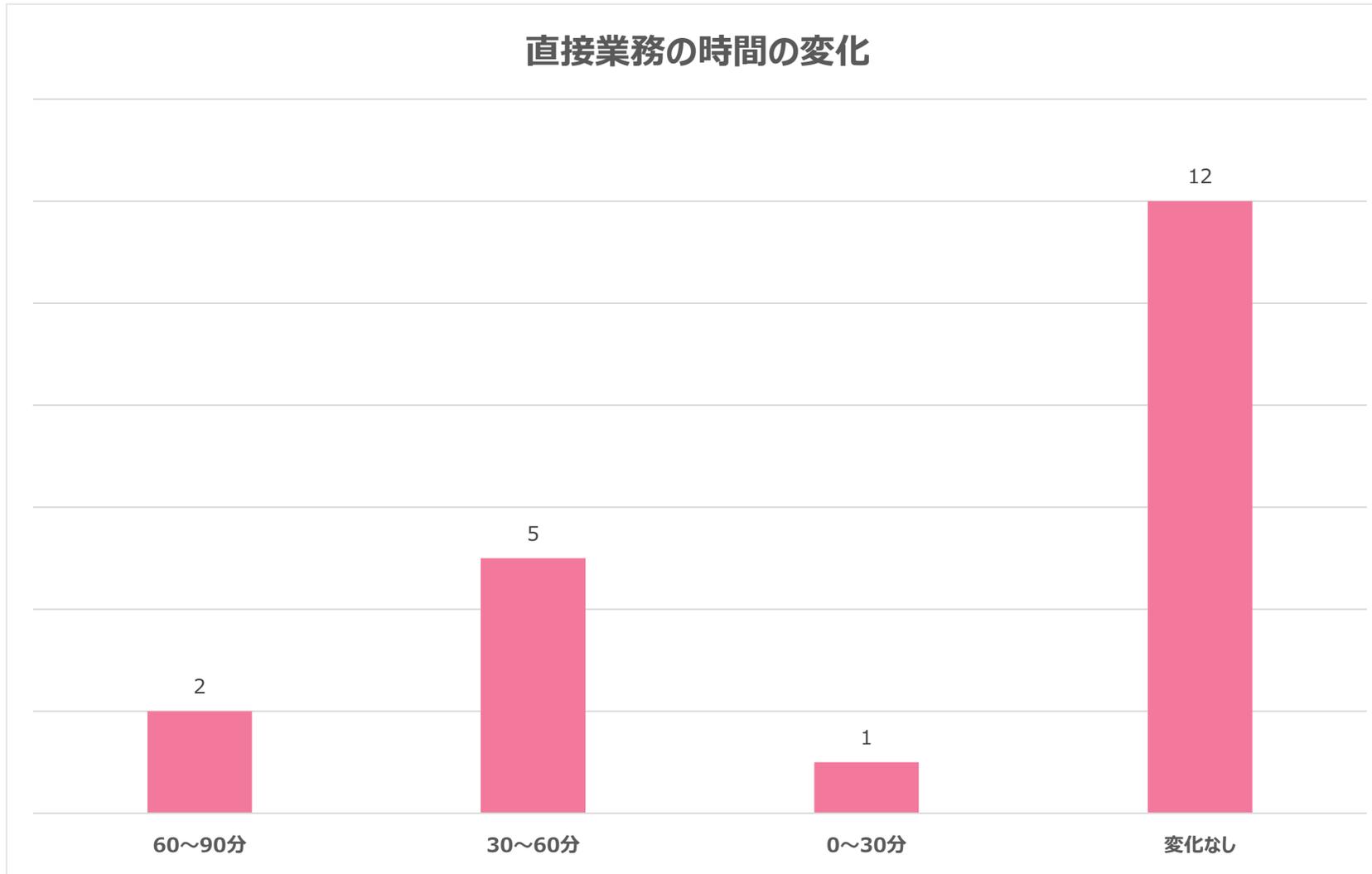
(1) ICTを導入したことにより改善したこと

※導入効果報告書における回答の集計結果

○設問：本事業による補助でICTを導入したことにより改善したと思うことをお聞かせください。

②増加した直接業務時間

職員 1 人あたりの1ヶ月平均



(1) ICTを導入したことにより改善したこと

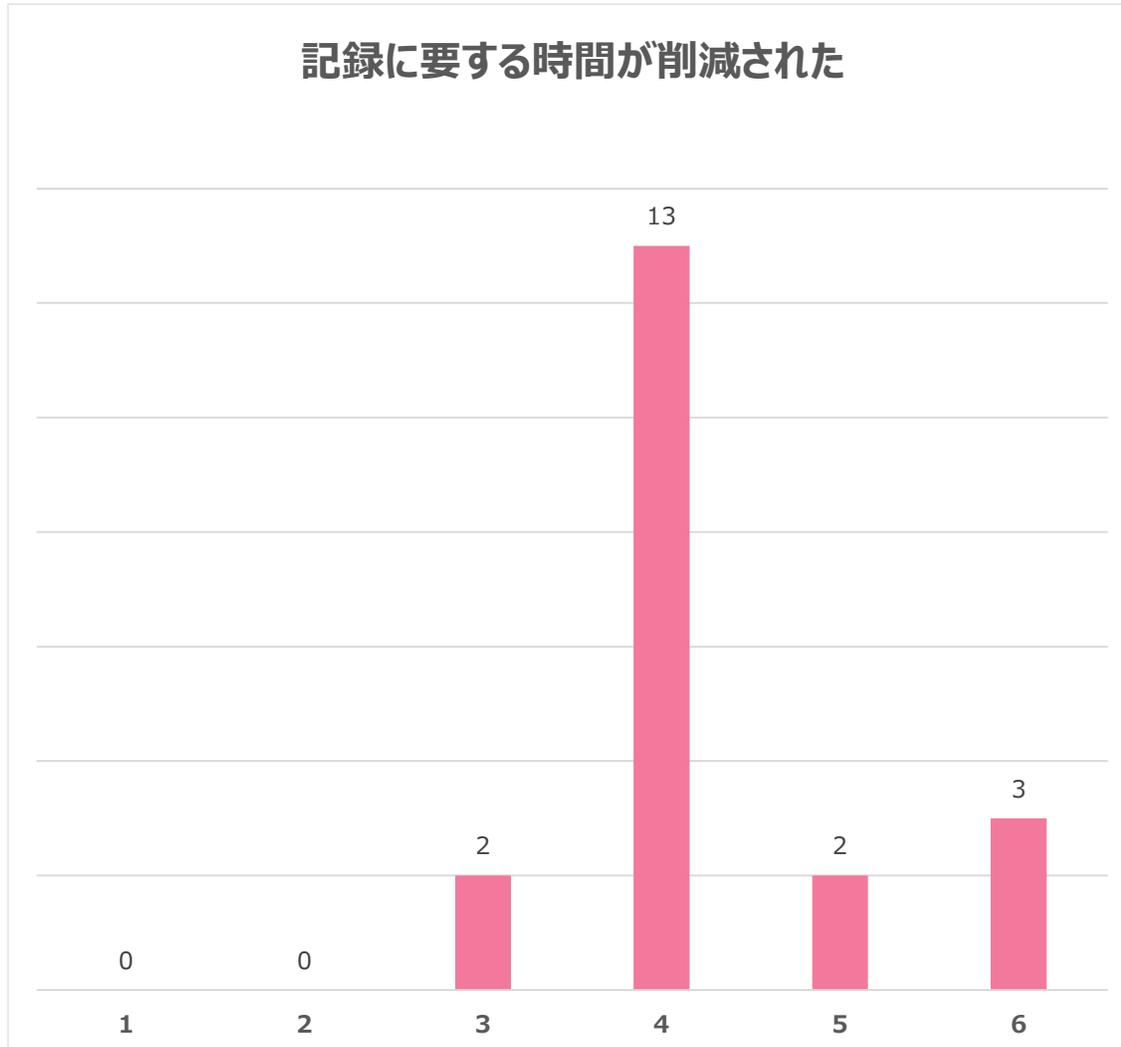
※導入効果報告書における回答の集計結果

○設問：本事業による補助でICTを導入したことにより改善したと思うことをお聞かせください。

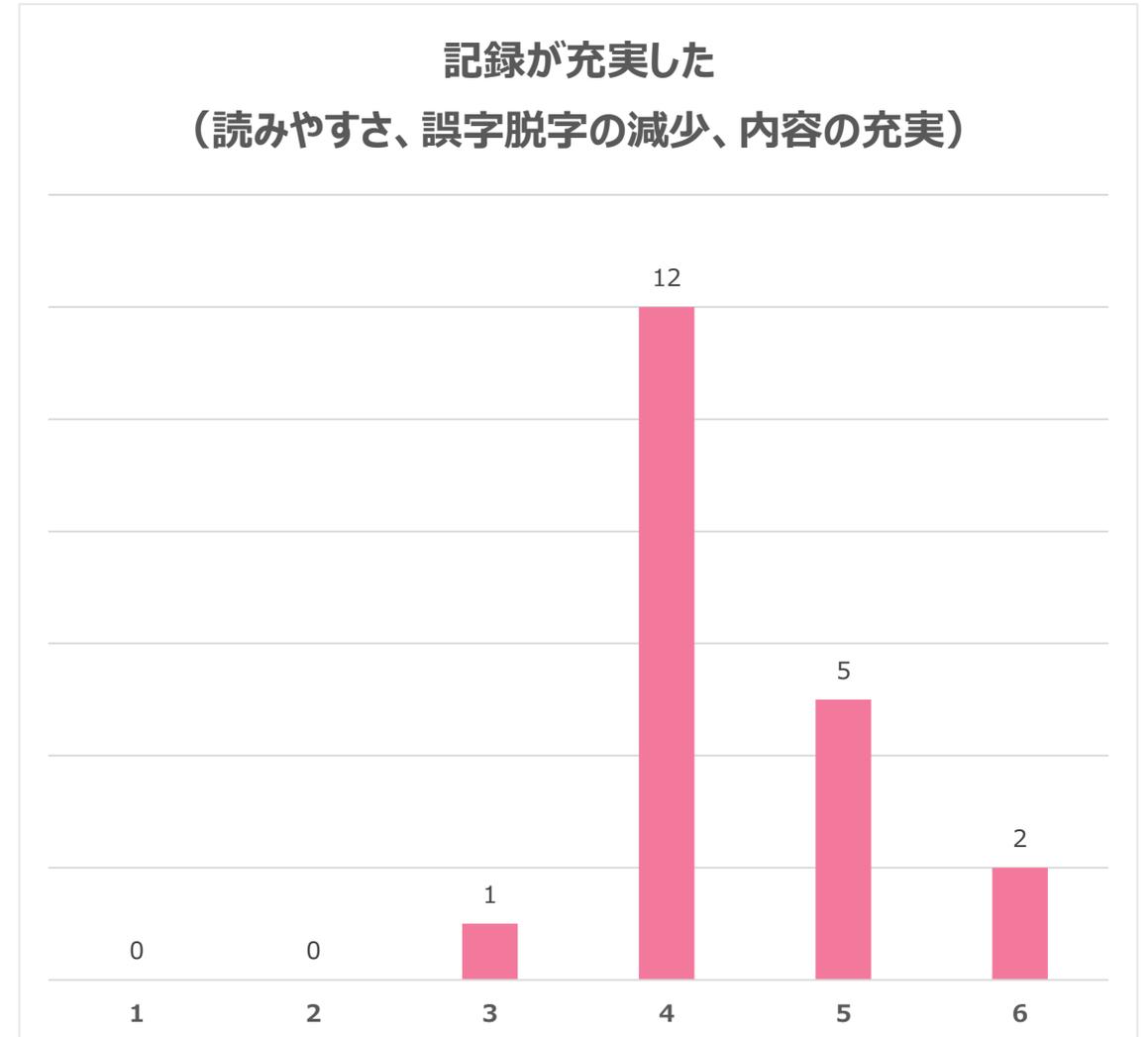
③記録について

1：そう思わない ～ 6：そう思う の選択式

記録に要する時間が削減された



記録が充実した (読みやすさ、誤字脱字の減少、内容の充実)



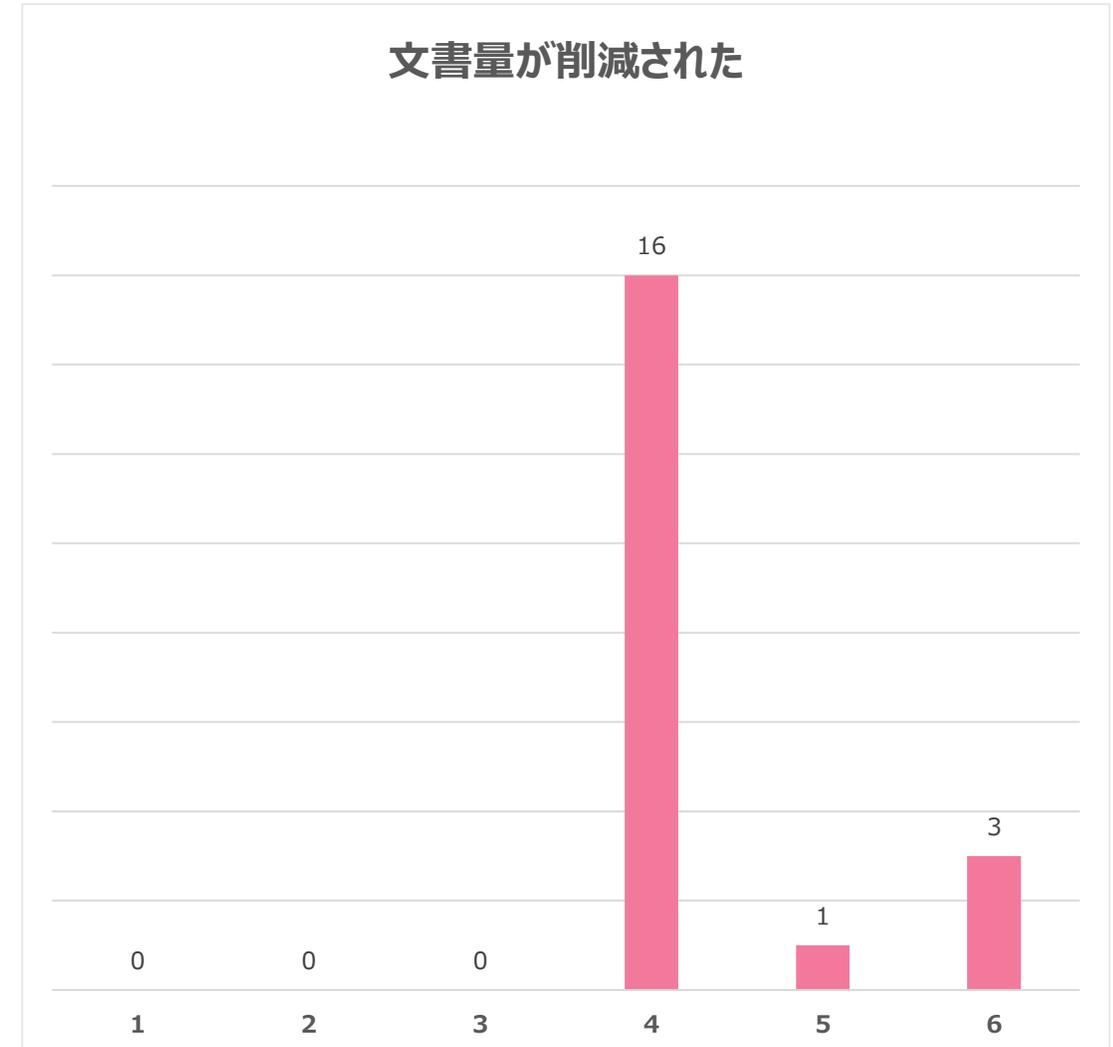
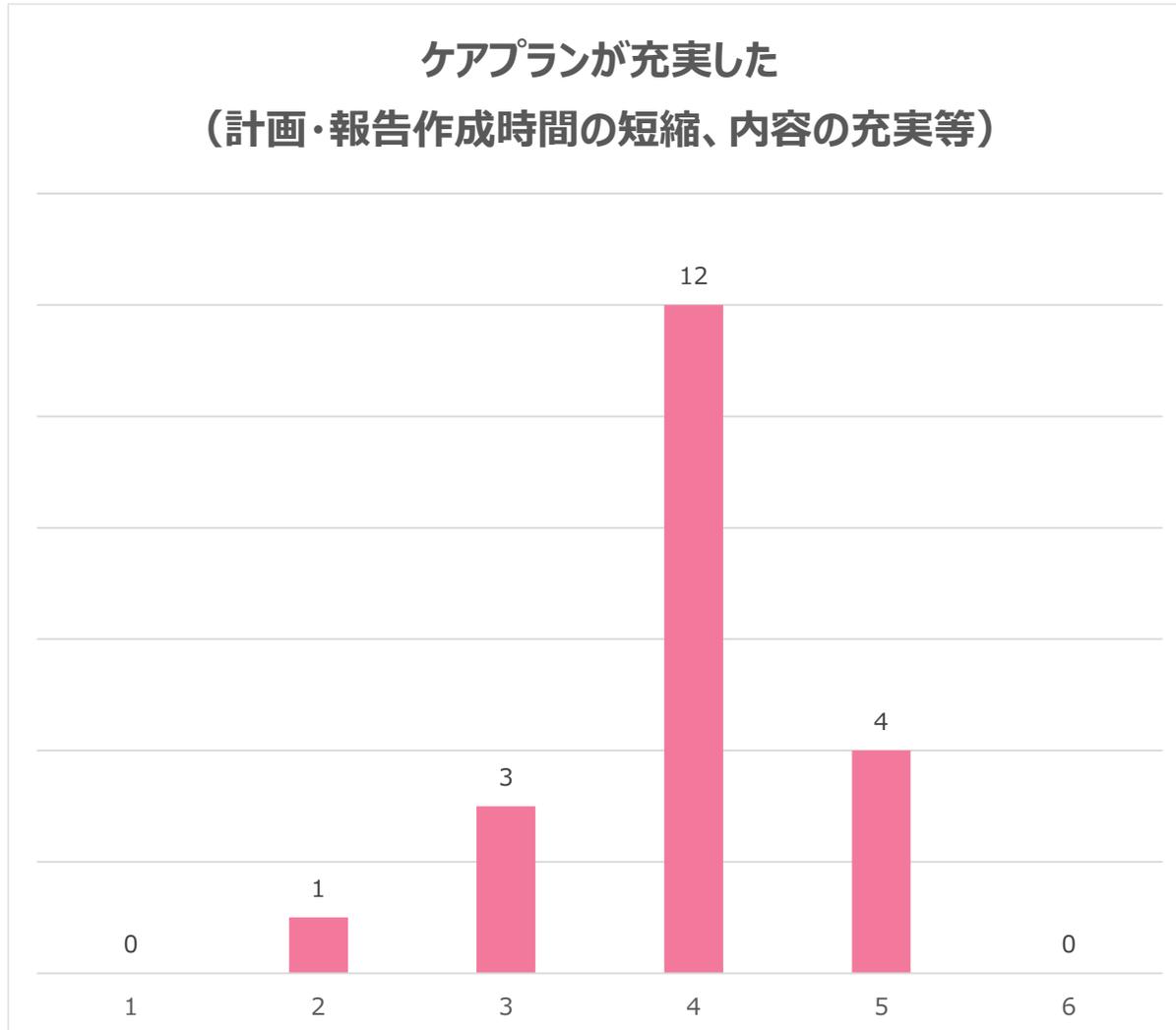
(1) ICTを導入したことにより改善したこと

※導入効果報告書における回答の集計結果

○設問：本事業による補助でICTを導入したことにより改善したと思うことをお聞かせください。

③記録について

1：そう思わない ～ 6：そう思う の選択式



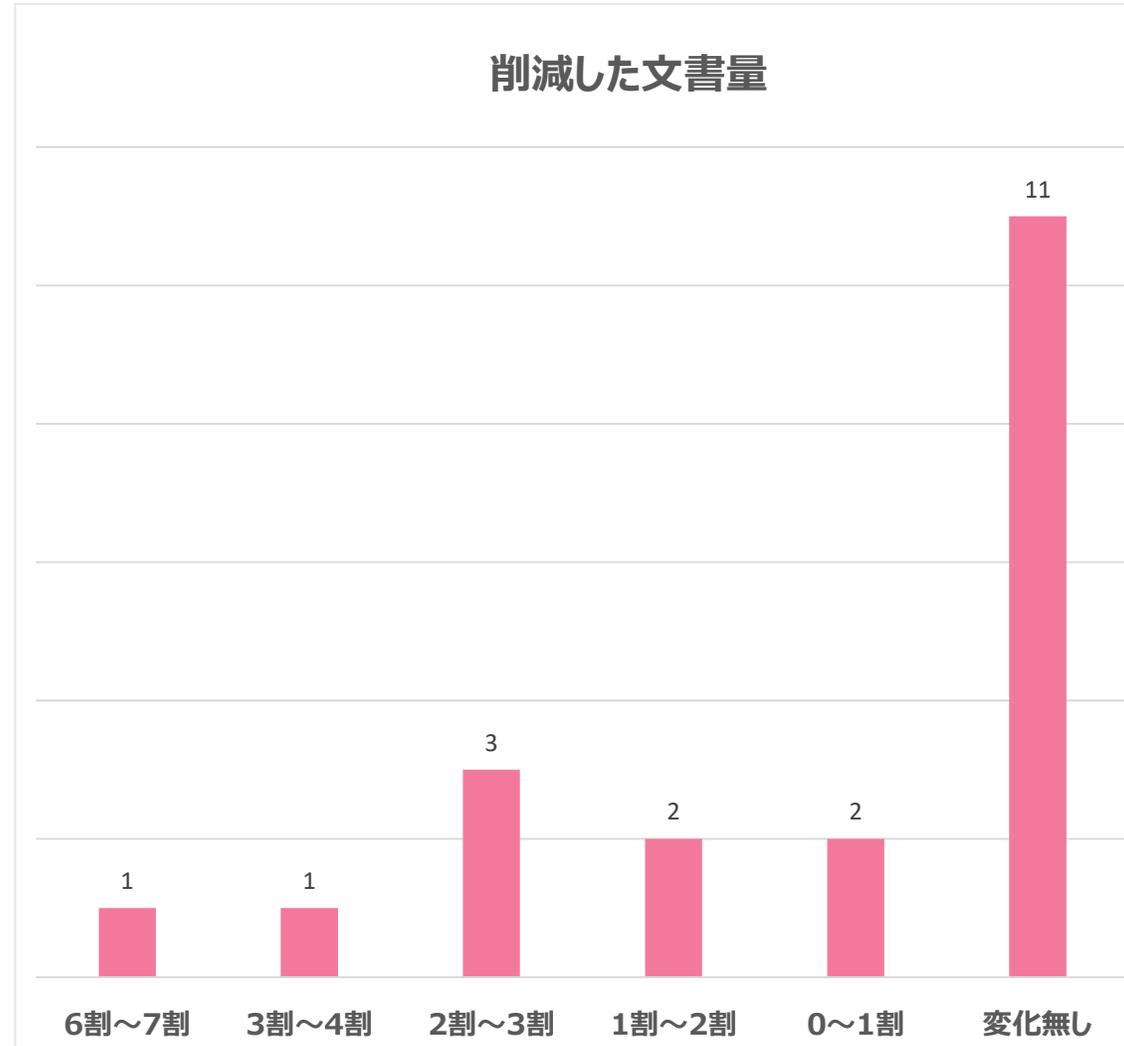
(1) ICTを導入したことにより改善したこと

※導入効果報告書における回答の集計結果

○設問：本事業による補助でICTを導入したことにより改善したと思うことをお聞かせください。

④削減した文書量

1事業所あたりの1ヶ月平均



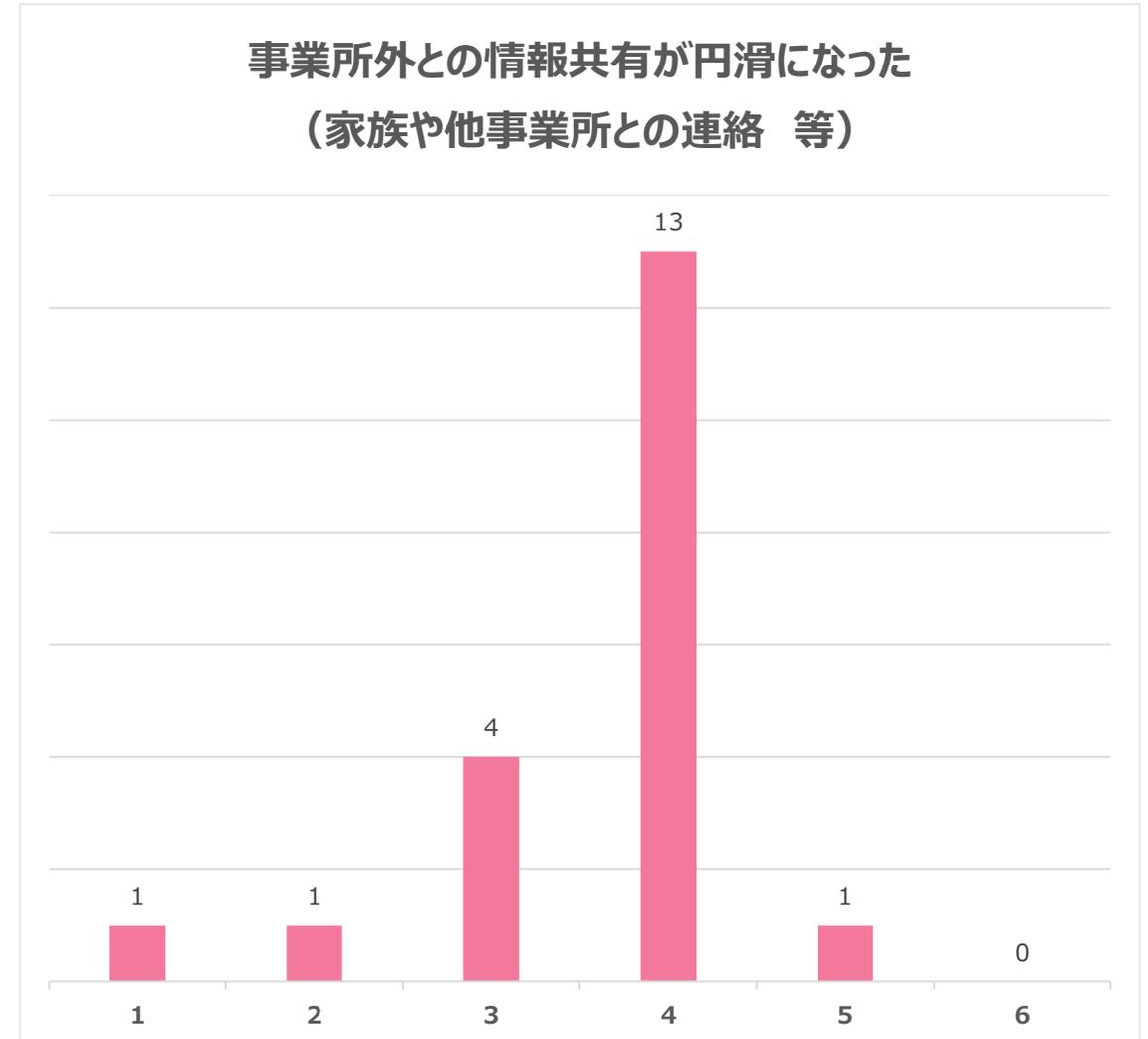
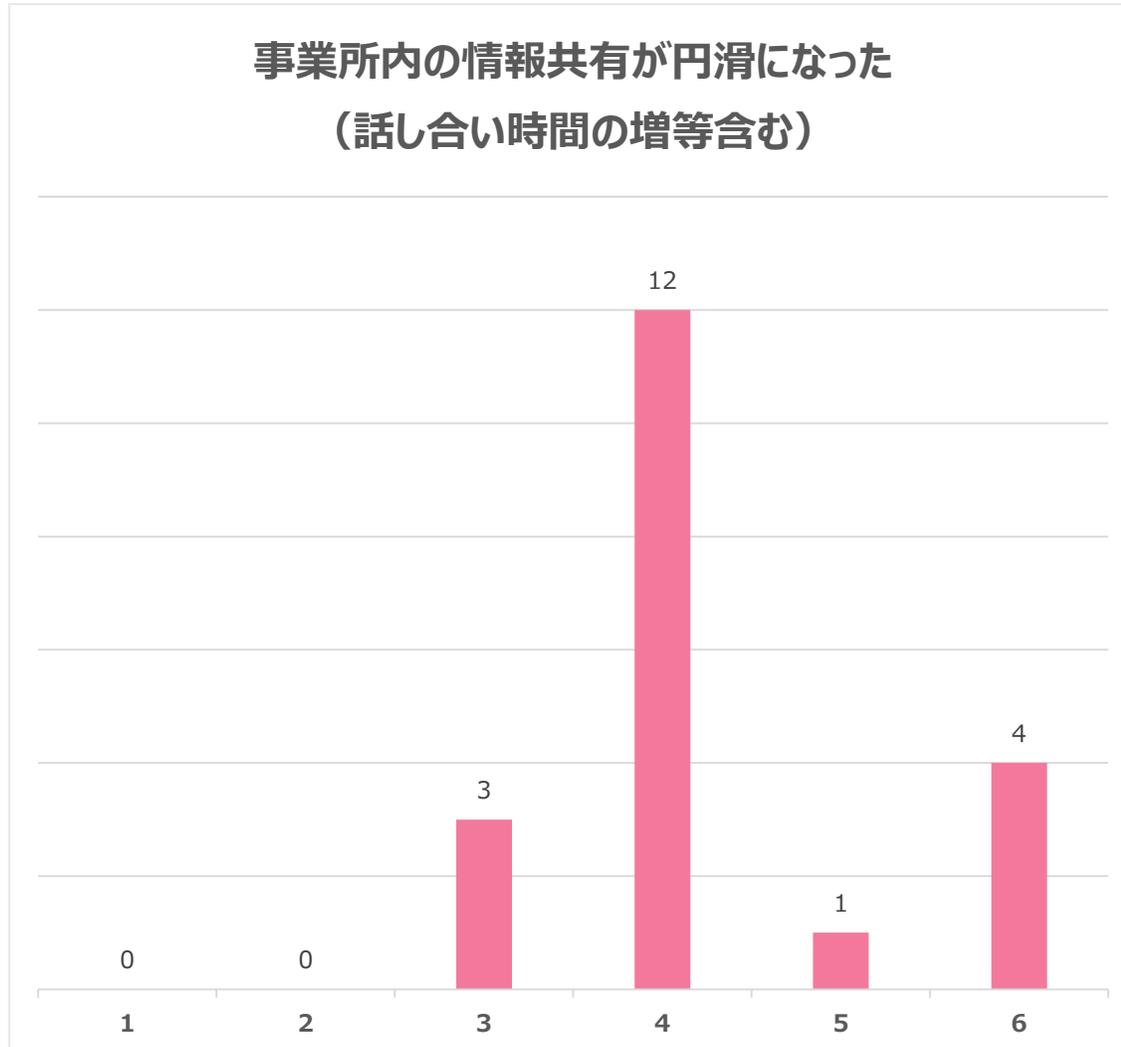
(1) ICTを導入したことにより改善したこと

※導入効果報告書における回答の集計結果

○設問：本事業による補助でICTを導入したことにより改善したと思うことをお聞かせください。

⑤情報連携・共有について

1：そう思わない ～ 6：そう思う の選択式



○設問：本事業による補助でICTを導入したことにより改善したと思うことをお聞かせください。

⑥その他、ICT導入により改善したこと

自由記述

- ・ ナースコール（携帯端末）での、記録管理が可能となり、状況把握が可能となった。
- ・ 記録から請求までが一気通貫となったため、ミスが少なくなった。
- ・ 操作が簡単になり、ITの苦手な介護職員も使用できるようになった。
- ・ タブレットの導入により介護記録の打ち込みをスタッフルーム以外で行えるようになり、場所を限定されることがなくなった。そのため、利用者様の見守りが充実し、転倒等のリスク軽減が図れた。
- ・ 職員間の情報共有が円滑になった。

改善したことのまとめとポイント

1. 介護ソフトの導入により、記録等の間接業務の時間が削減され、直接介護に充てる時間や、家族への連絡に充てる時間を増やすことができる。

運用しながら、削減された間接業務時間数、増加した直接業務時間数を比較する等、介護ソフトの運用による効果を見える化して職場内で共有すること。

→職場全体で業務効率化の効果を共有することで、継続的に業務改善に取り組んでいく。

2. 介護ソフトの導入により、職場内での情報共有をスムーズに行うことができる。また、文書量の削減にもつながる。

運用上のルールを定めて職員全員で共有すること。運用しながら試行錯誤すること。

(2) ICTを導入するにあたり、うまくいかなかったこと、今後改善が必要なこと

○ ICT導入効果報告書の設問：本事業による補助でICTを導入したことによりうまくいかなかったこと、今後改善が必要なことをお聞かせください。

※回答は、1：そう思わない ～ 6：そう思う を選択。

※回答数：20事業所（R3.6時点）

①うまくいかなかったこと

- かえてかえて時間や文書量の負担が増えた
- かえて職員間・家族とのコミュニケーションや振り返りが不足した
- PCが得意でない方の記録の入力内容が薄くなった
- 介護ソフトに関する研修が出来ていない
- 職員のICTスキルが不十分（慣れていない、使いこなせない）

②その他、うまくいかなかったこと

自由記述

③今後改善が必要なこと

- 職場の環境整備の見直し（整理整頓等）
- 業務の明確化と役割分担の見直し（業務全体の流れの再構築、テクノロジーの活用等）
- 業務手順書・マニュアルの作成（申し送り等の標準化等）
- 記録・報告様式の見直し
- 情報共有の方法の見直し
- OJTの仕組みづくり（研修の実施等）
- 理念・行動指針の徹底

④その他、改善が必要なこと

自由記述

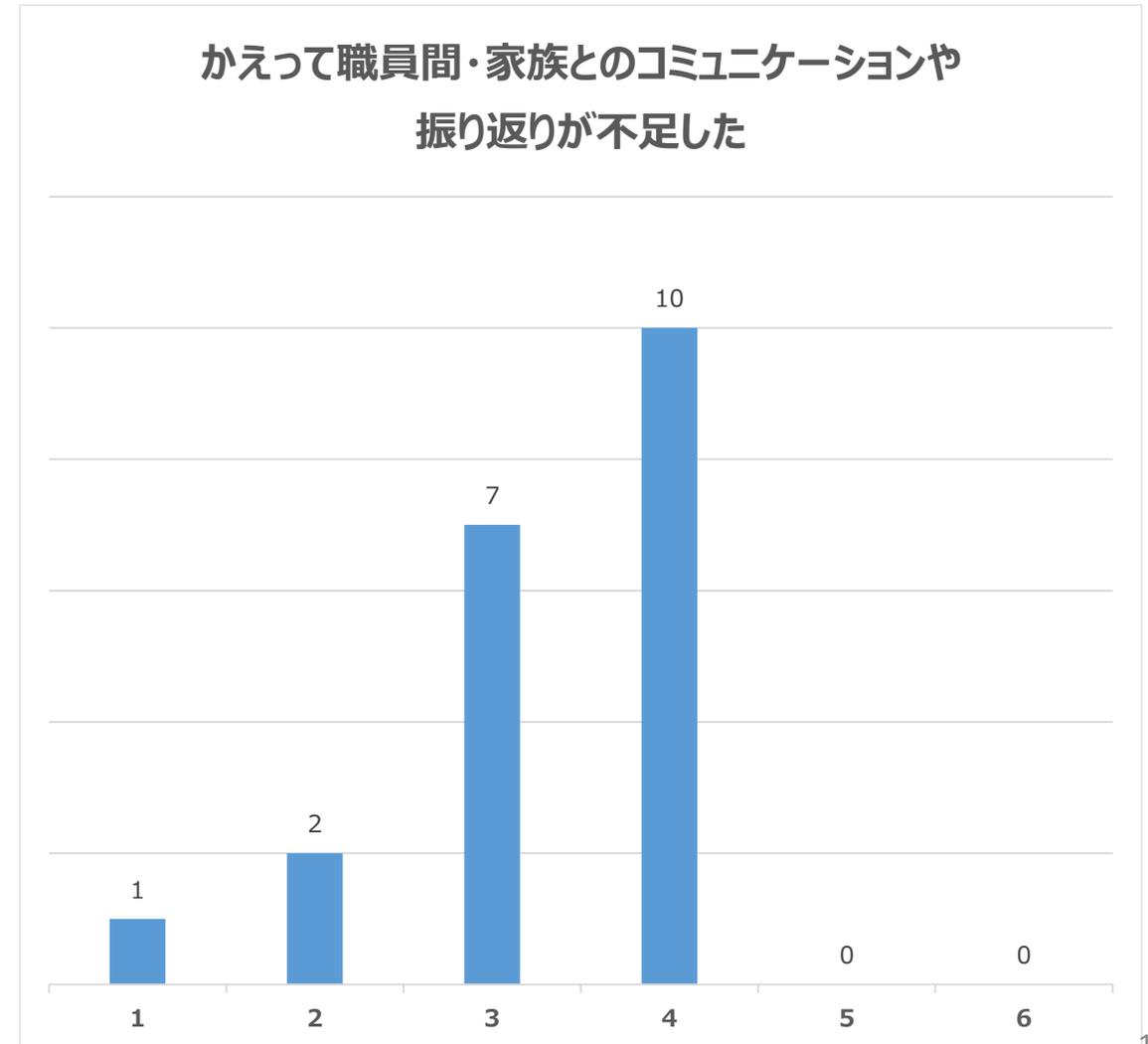
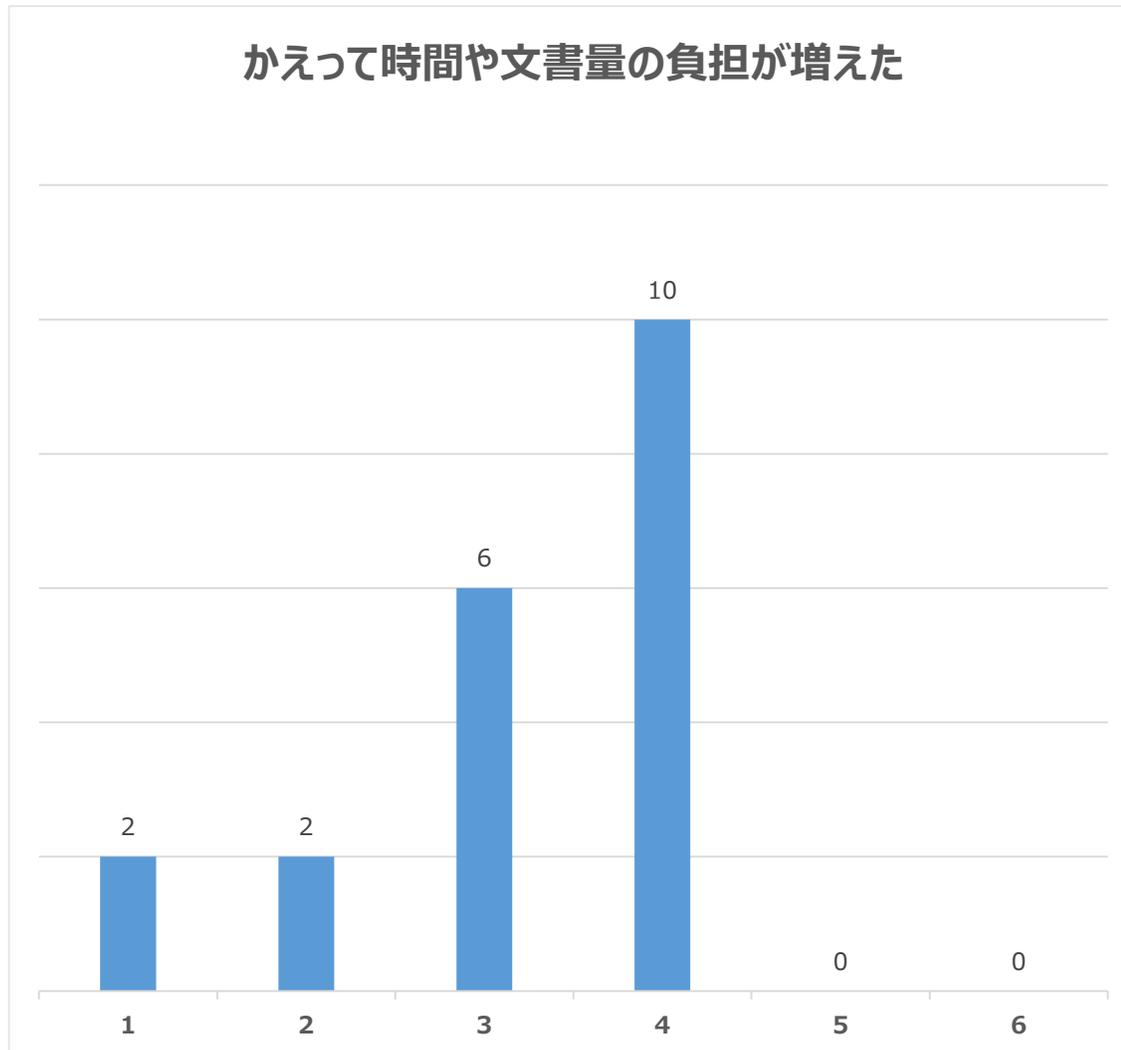
(2) ICTを導入するにあたり、うまくいかなかったこと

※導入効果報告書における回答の集計結果

○設問：本事業による補助でICTを導入したことによりうまくいかなかったこと、今後改善が必要なことをお聞かせください。

①うまくいかなかったこと

1：そう思わない ～ 6：そう思う の選択式



(2) ICTを導入するにあたり、うまくいかなかったこと

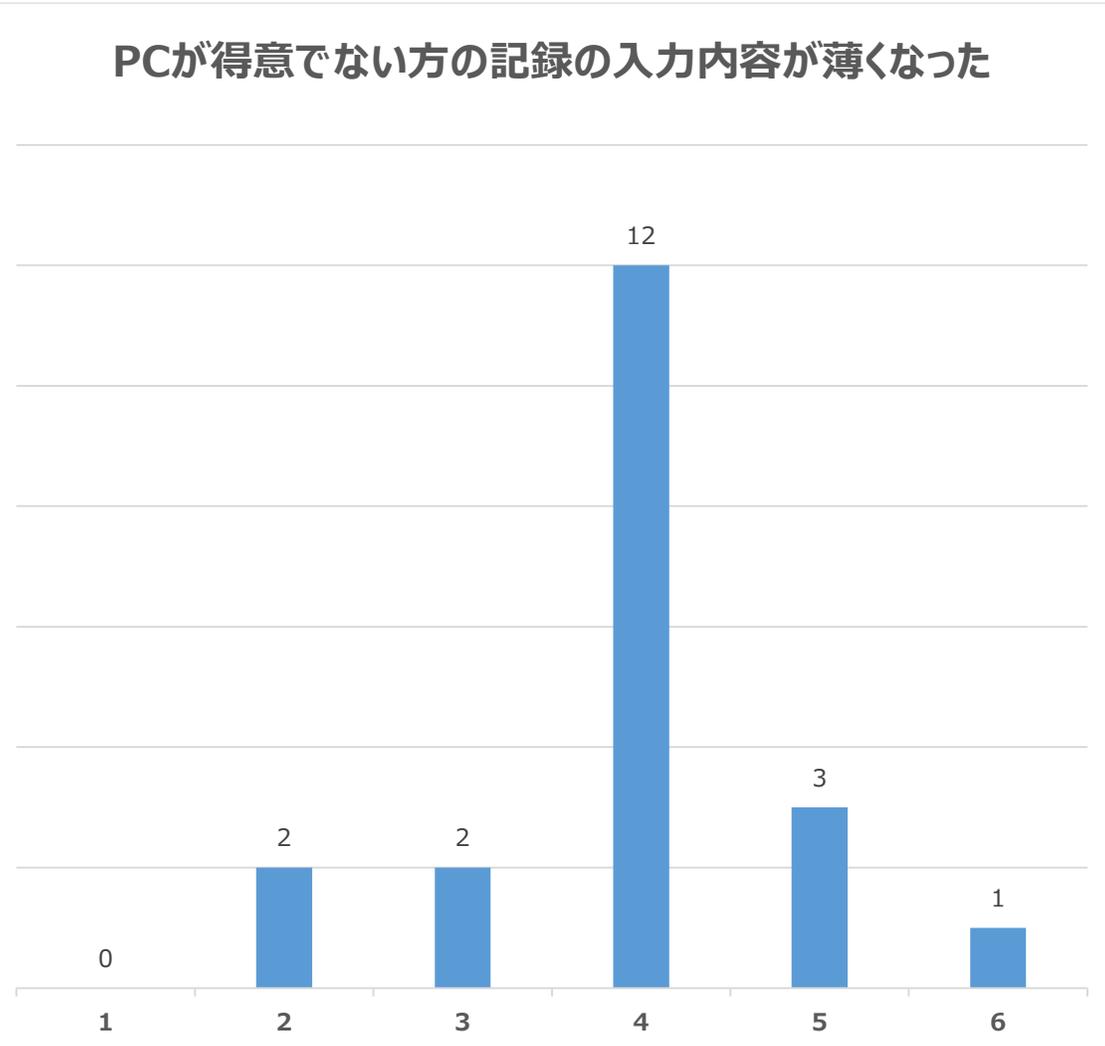
※導入効果報告書における回答の集計結果

○設問：本事業による補助でICTを導入したことによりうまくいかなかったこと、今後改善が必要なことをお聞かせください。

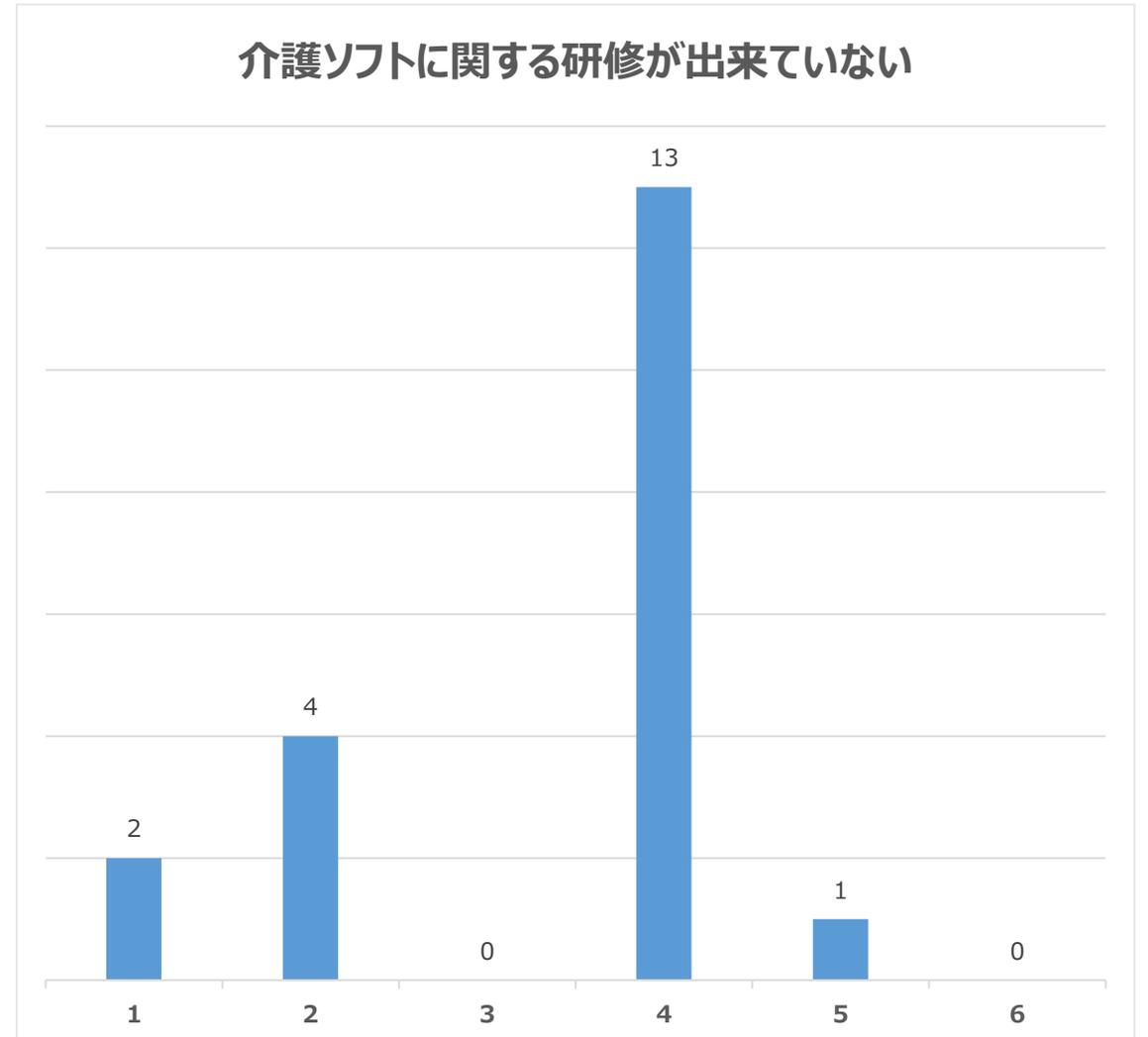
①うまくいかなかったこと

1：そう思わない ～ 6：そう思う の選択式

PCが得意でない方の記録の入力内容が薄くなった



介護ソフトに関する研修が出来ていない

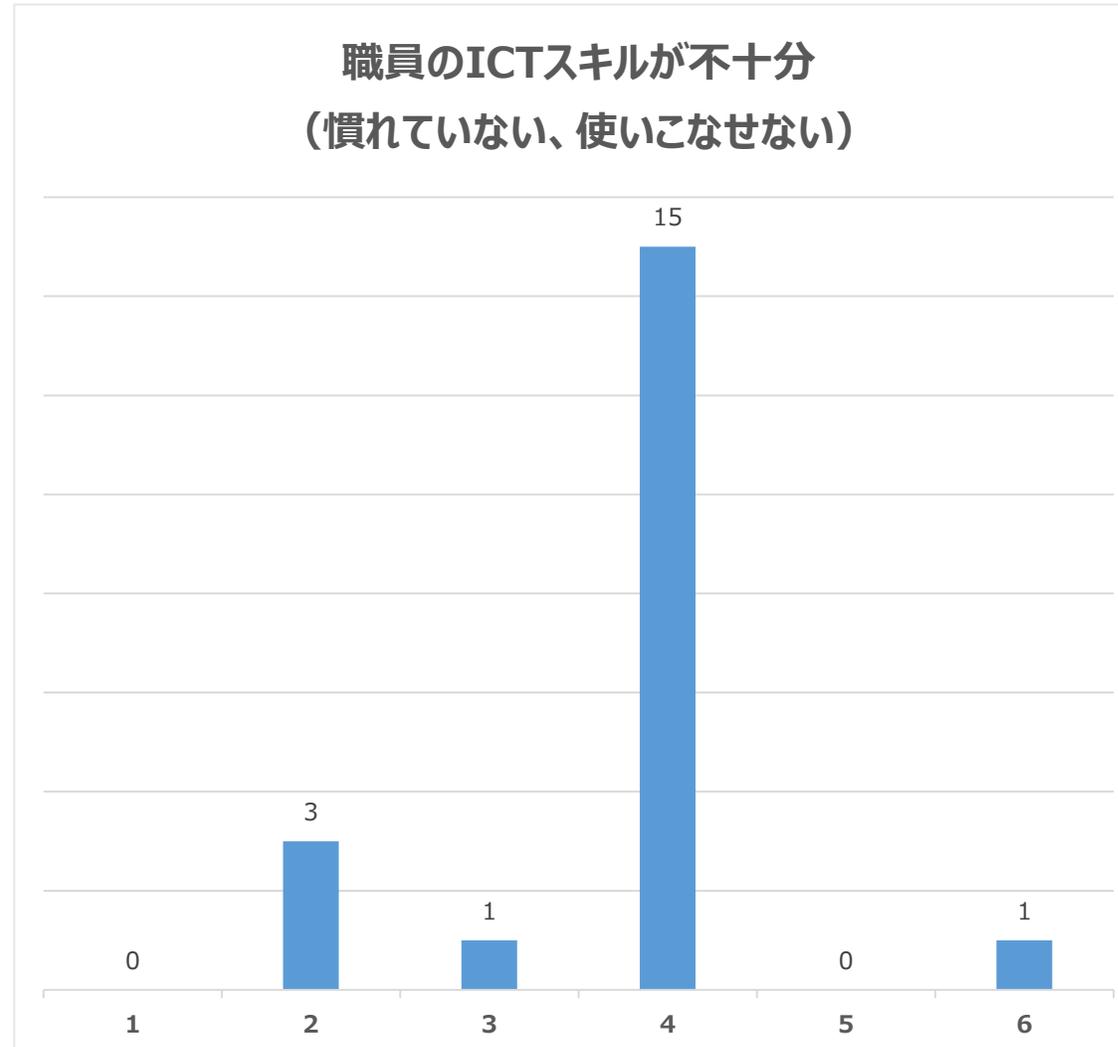


(2) ICTを導入するにあたり、うまくいかなかったこと

※導入効果報告書における回答の集計結果

○設問：本事業による補助でICTを導入したことによりうまくいかなかったこと、今後改善が必要なことをお聞かせください。

①うまくいかなかったこと 1：そう思わない ～ 6：そう思う



(2) ICTを導入するにあたり、うまくいかなかったこと

※導入効果報告書における回答の集計結果

○設問：本事業による補助でICTを導入したことによりうまくいかなかったこと、今後改善が必要なことをお聞かせください。

②その他、うまくいかなかったこと 自由記述

- PCスキルの高低が業務直結してしまうため、スキルの高い職員に集中してしまっている。
- タブレット端末が1台なので、提供責任者が使用する頻度が高い。複数台の検討が必要だった。
- PCやタブレット端末使用時の操作ミスや雑な取扱い。適正な操作などを指導する時間的ロスが発生。
- 家族への連絡が手書きのほうが見やすいとの指摘があり、従来の手書きに戻した。
- マニュアルの作成やICTスキルの低い職員のフォローのため、特定の職員に業務が集中している。

うまくいかなかったことのまとめとポイント

1. 導入したことで、**文書量が増えたり、家族等とのコミュニケーション時間が不足するケースが見られた。**従来の方法（家族への連絡等）に戻すケースことも見られる

介護ソフトを導入した後も、随時運用を見直し、改善策を検討する必要がある。

2. 職員の**PCスキルの有無が、介護ソフトの活用状況に影響している。**

介護ソフト導入に向けて、事前に職員のPCスキルを把握し、研修計画を作成すること。また、必要に応じてマニュアルを作成しておくこと。

3. 研修を実施できていない。

介護ソフトを活用するためには、研修が不可欠であるため、事前に研修計画を作成し、確実に実施すること。

(2) ICTを導入するにあたり、うまくいかなかったこと

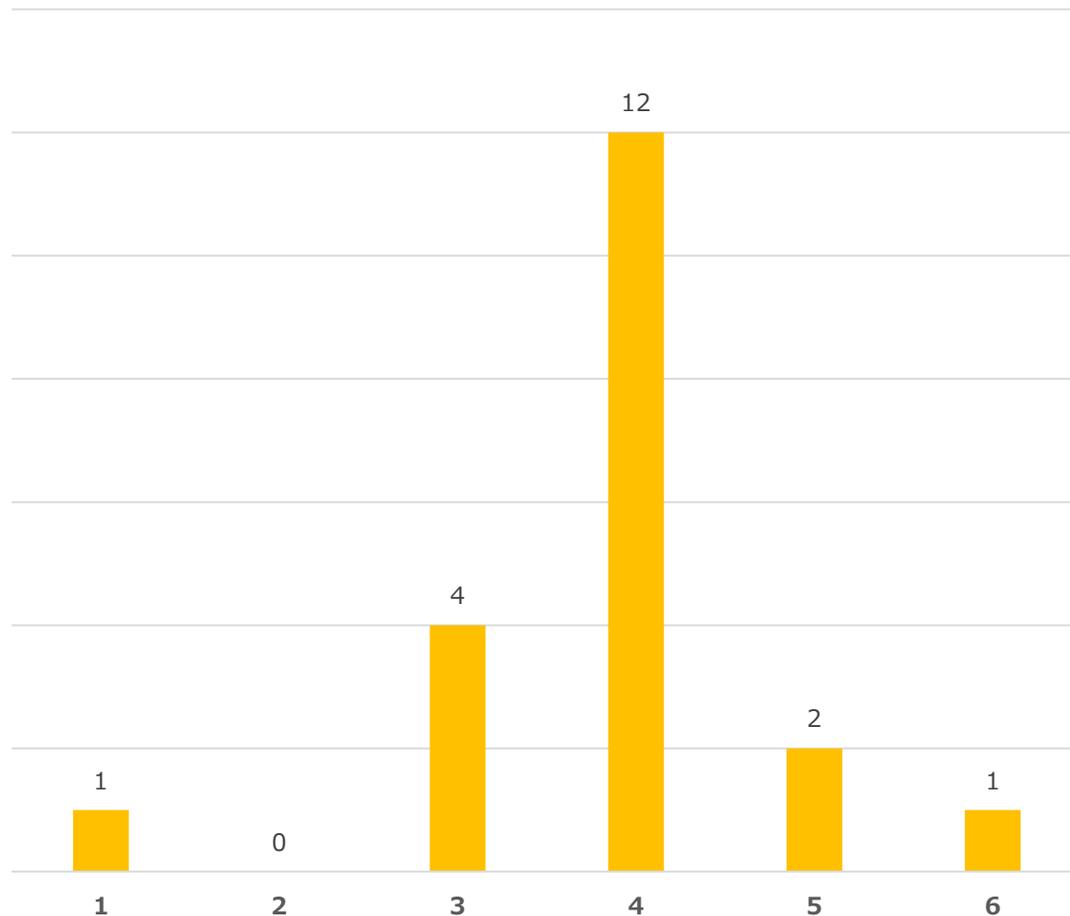
※導入効果報告書における回答の集計結果

○設問：本事業による補助でICTを導入したことによりうまくいかなかったこと、今後改善が必要なことをお聞かせください。

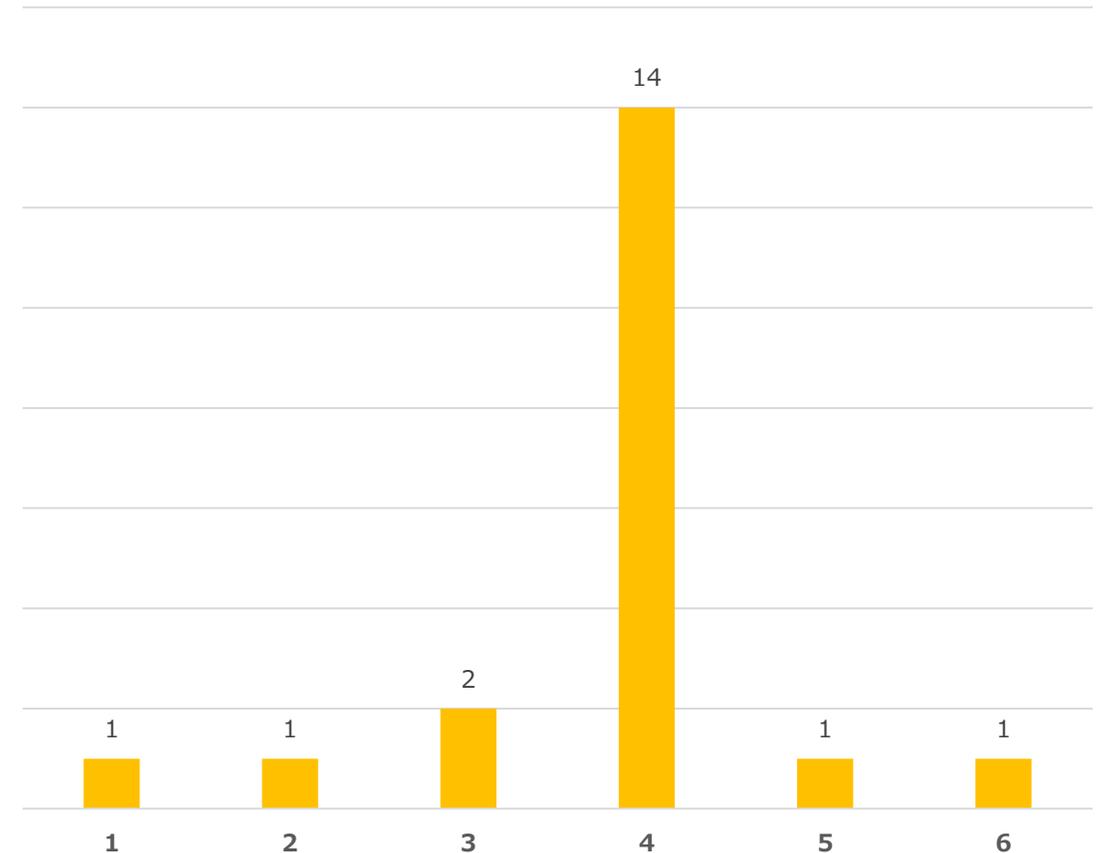
③今後、改善が必要なこと

1：そう思わない ～ 6：そう思う の選択式

職場の環境整備の見直し（整理整頓等）



業務の明確化と役割分担の見直し （業務全体の流れの再構築、テクノロジーの活用）



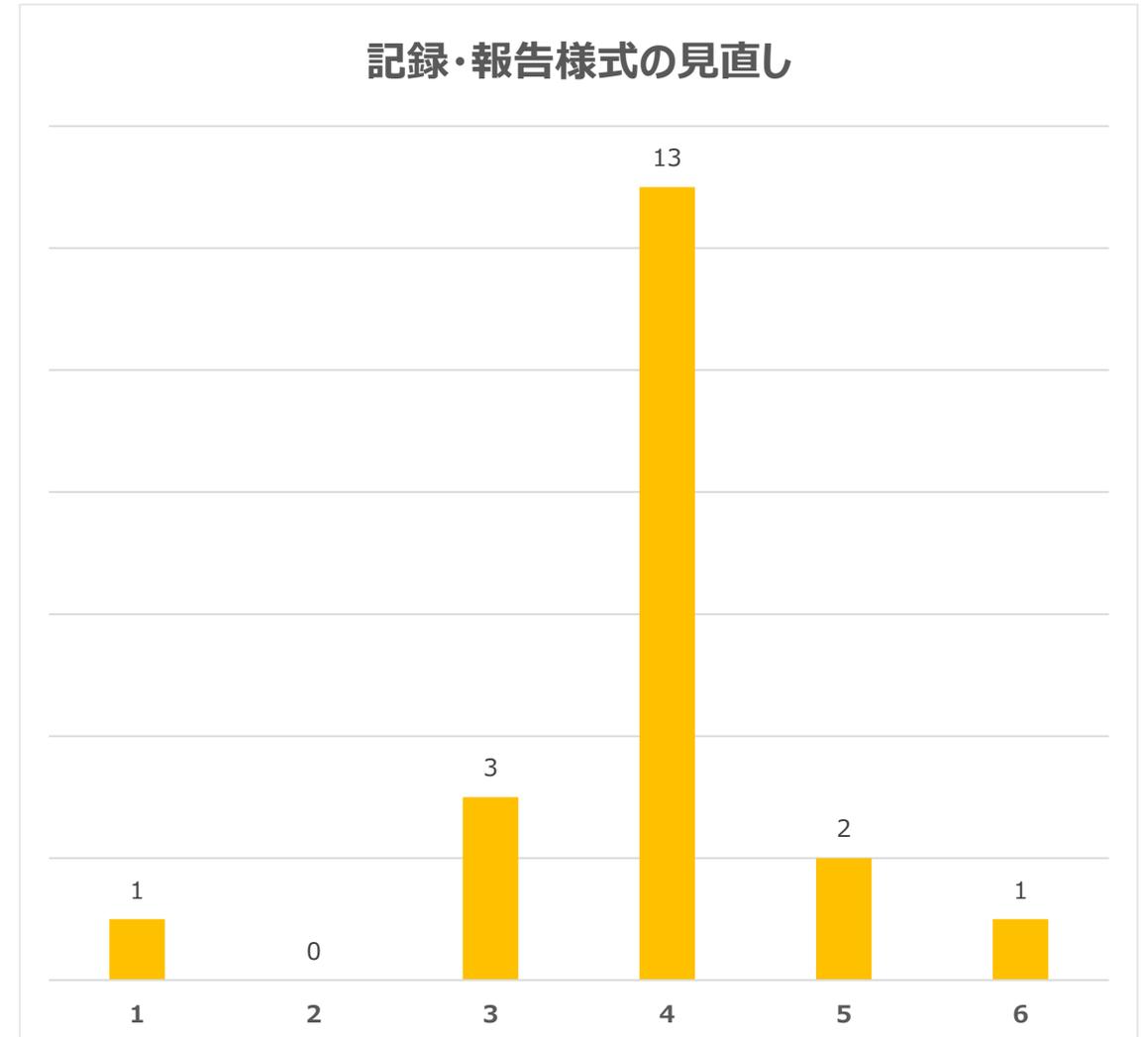
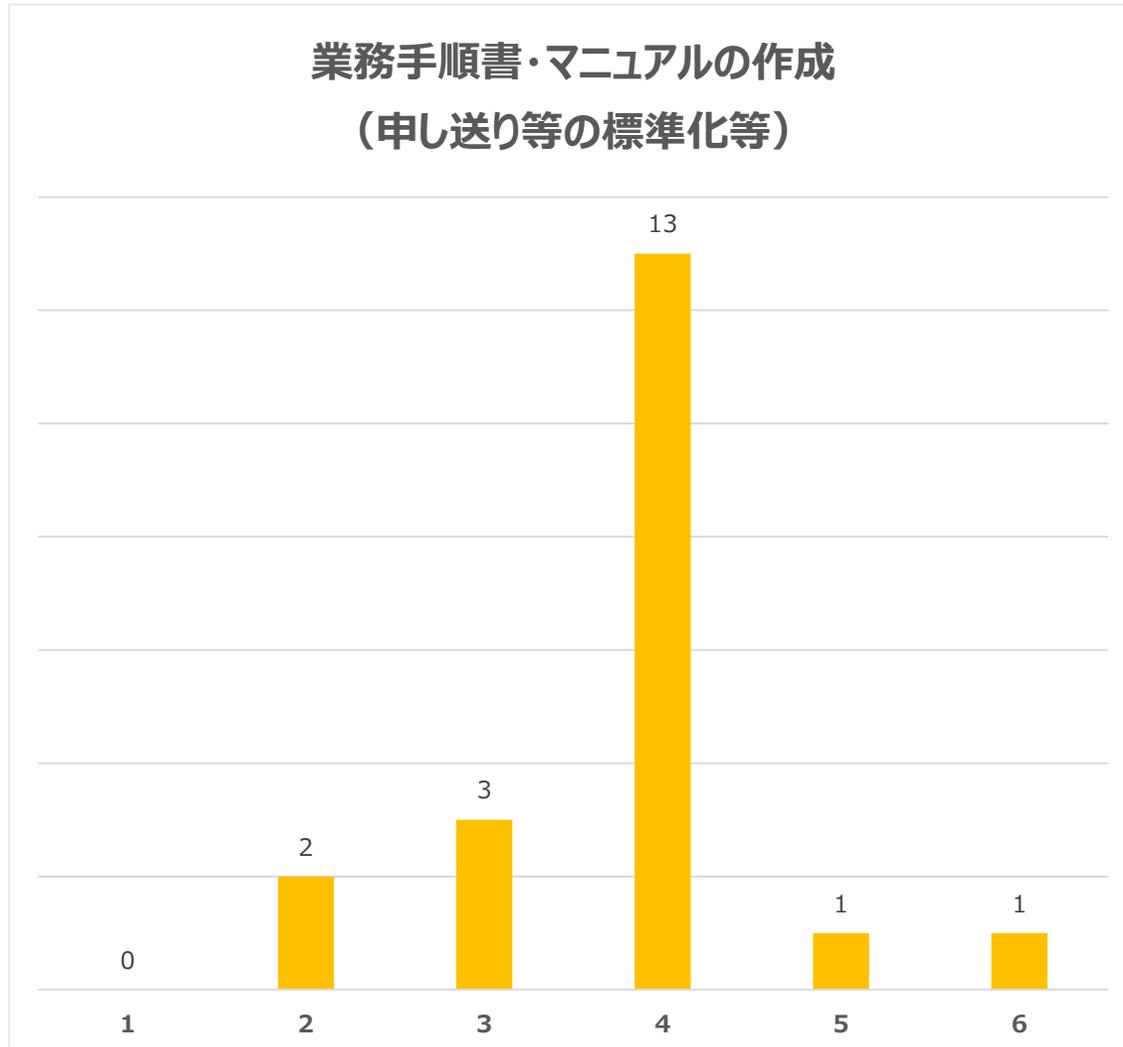
(2) ICTを導入するにあたり、うまくいかなかったこと

※導入効果報告書における回答の集計結果

○設問：本事業による補助でICTを導入したことによりうまくいかなかったこと、今後改善が必要なことをお聞かせください。

③今後、改善が必要なこと

1：そう思わない ～ 6：そう思う の選択式



(2) ICTを導入するにあたり、うまくいかなかったこと

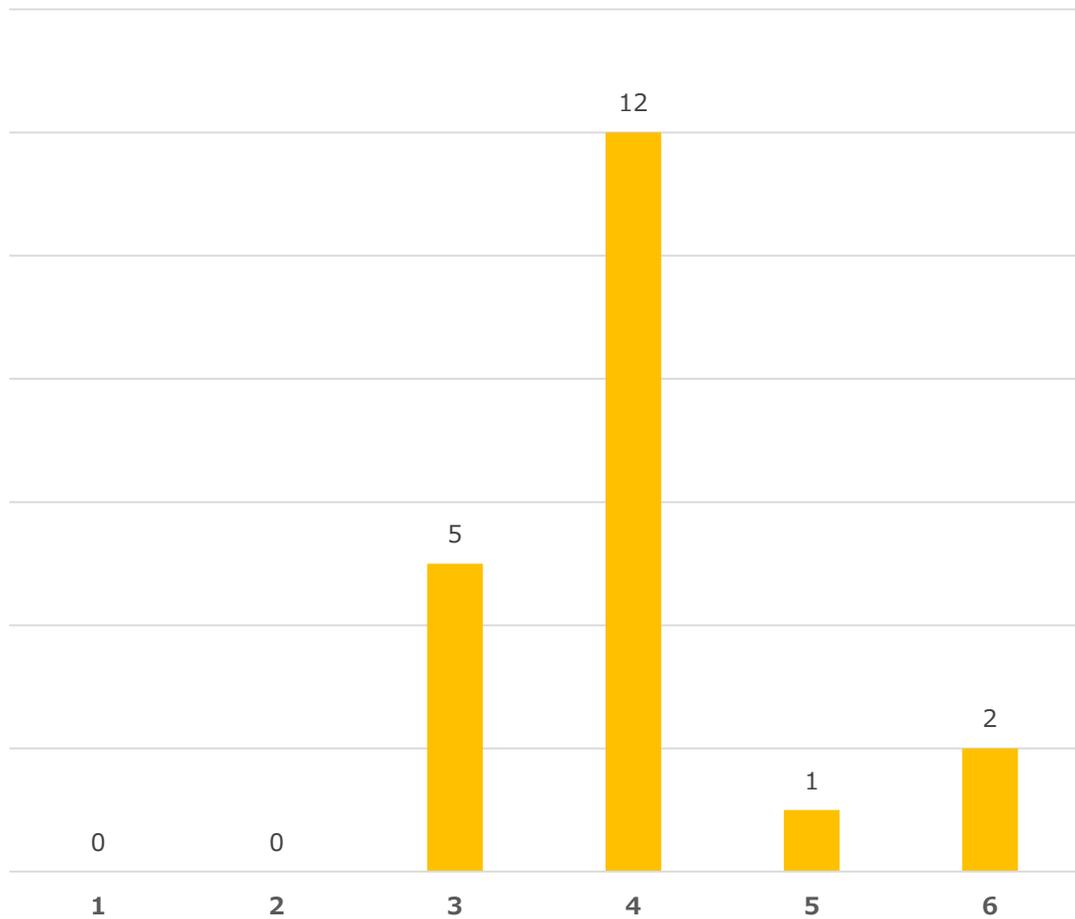
※導入効果報告書における回答の集計結果

○設問：本事業による補助でICTを導入したことによりうまくいかなかったこと、今後改善が必要なことをお聞かせください。

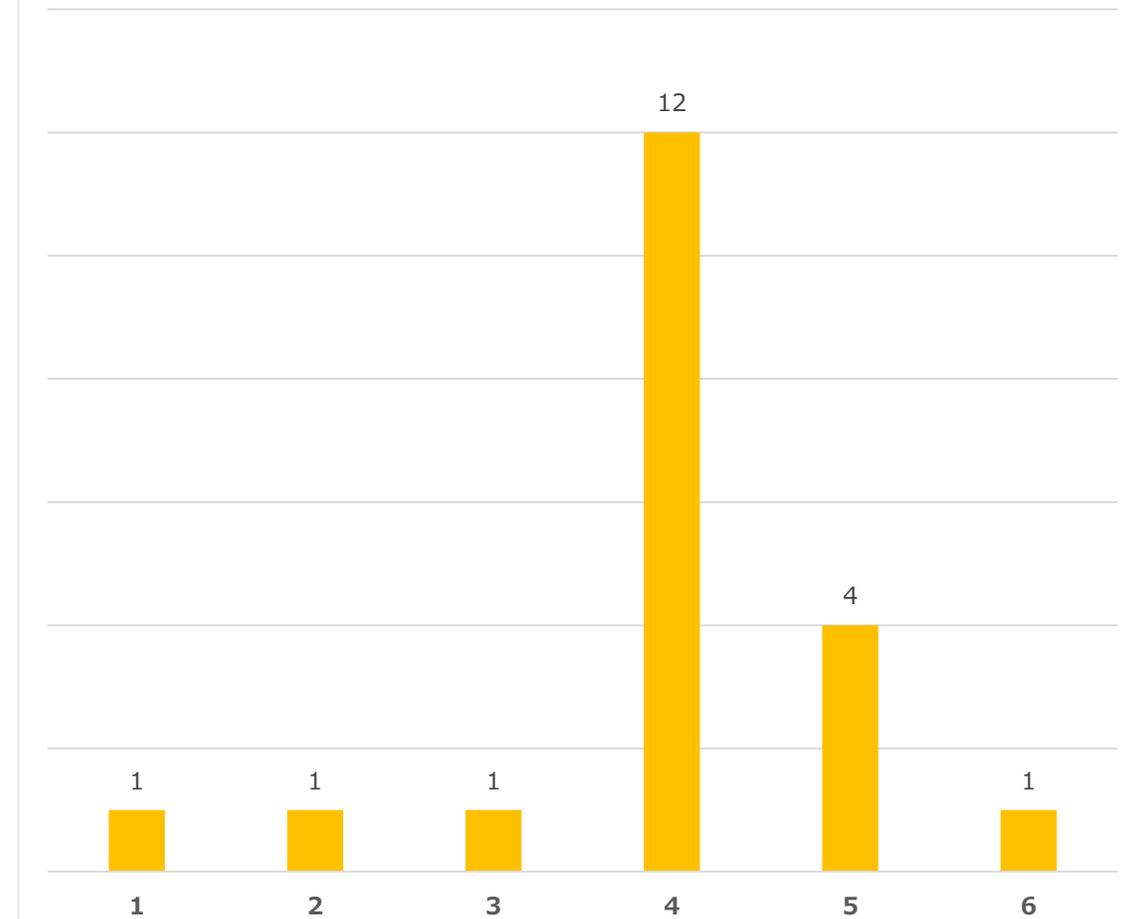
③今後、改善が必要なこと

1：そう思わない ～ 6：そう思う の選択式

情報共有の方法の見直し



OJTの仕組みづくり（研修の実施等）

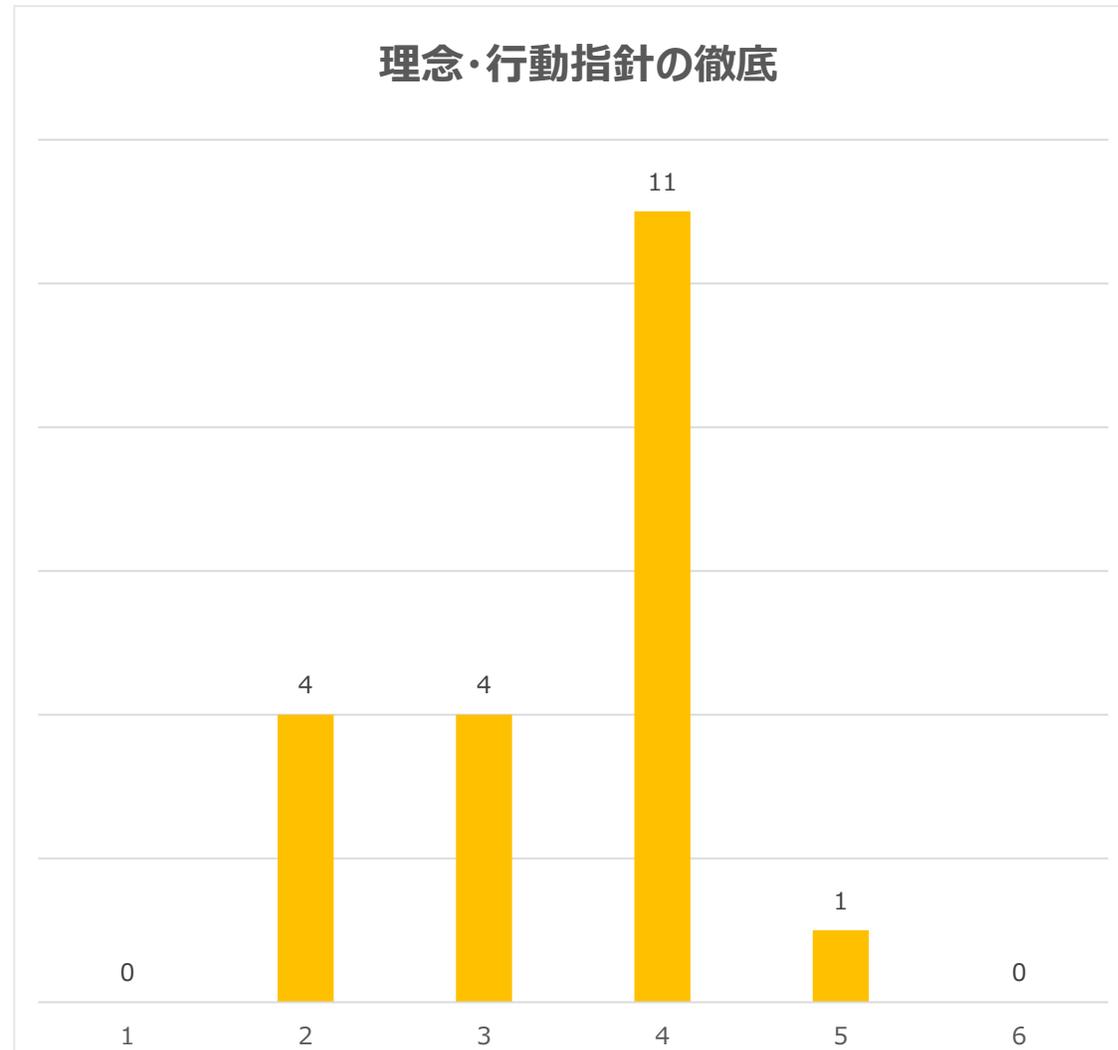


(2) ICTを導入するにあたり、うまくいかなかったこと

※導入効果報告書における回答の集計結果

○設問：本事業による補助でICTを導入したことによりうまくいかなかったこと、今後改善が必要なことをお聞かせください。

③今後、改善が必要なこと 1：そう思わない ～ 6：そう思う



(2) ICTを導入するにあたり、うまくいかなかったこと

※導入効果報告書における回答の集計結果

○設問：本事業による補助でICTを導入したことによりうまくいかなかったこと、今後改善が必要なことをお聞かせください。

④その他、今後改善が必要なこと 自由記述

- 一定数のデータがある中で検討する必要がある事項については、今後の運用に応じて対応・改善が必要と感じている。
- OJT等にて職員間スキルの平均化を図る必要がある。
- 端末操作に不慣れ。操作ミスや心理的抵抗。
- 職員のPC・ソフトの使用方法和適正な操作方法。
- タブレット型端末の導入により、さらに事業を円滑にしたい。CHASEへ登録・運用したい。

改善が必要なことのまとめとポイント

1. 業務を明確化し、役割分担を見直すことが必要である。

**業務効率化や職員の負担軽減のために、業務の明確化や役割分担の見直しは必要な過程であるため、介護ソフトの活用とあわせて十分検討する必要がある。
なお、本検討は介護ソフト導入前、事前に検討することが重要である。**

2. 職員のPCスキルの差や、そこから生じる端末操作への心理的な抵抗をなくすことが必要である。

事前に職員のPCスキルを把握し、研修計画を作成すること。また、必要に応じてマニュアルを作成しておくこと。

(3) 導入した機器

※導入効果報告書における回答の集計結果

○設問：本事業による補助で導入した機器等についてお答えください。

R3年度補助事業により、次の介護ソフトが導入されました。

ベンダー名	介護ソフト名
エヌ・デーソフトウェア株式会社	ほのぼのNEXT ケアパレット
株式会社東経システム	福祉見聞録
株式会社ワイズマン	各種管理システムSP 各種支援システムSP
株式会社ケアコネクトジャパン	ケアカルテ
プラスワンソリューションズ株式会社	ナーシングネットプラスワン

介護ソフトの選定理由

- 記録のしやすさと導入後の将来性を重視した。
- すでに導入しているシステムであったため。
- 情報共有機能等が一番優れていること。
- 性能面、介護情報入力ソフトとの互換性から総合的に判断した。
- 日中のサポート体制が整っている。導入後のサポートもしっかりしている。

介護ソフトを使用した感想

- 操作が簡単なので、職員が使いやすい。導入後のサポートがしっかりしている。
- 入力作業が容易となったことと入力内容を即時に確認することが出来るようになった。
- ネットワーク回線が混雑しているときは若干動作が遅く感じることはあるが、他には特に使用感に問題はない。入力様式については今後の運用においてメンテナンス等により調整が必要と感じる。